

川崎町地方創生に関するアンケート調査 集計報告書

平成 27 年 11 月

川 崎 町

目 次

I. 計画の概要

1 調査目的	1
2 調査期間	1
3 調査方法	1
4 調査内容	1
5 回収率	1
6 集計方法	1

II. 調査集計結果

1 世帯の属性について（性別・年齢・職業・地区）	4
2 川崎町について（居住状況・住みやすさ・魅力）	6
3 まちづくりについて（人口減少・対策）	17
4 結婚について	22
5 出産・育児について	28
6 働くことについて	35
7 学生の将来像について（進学・就職）	46
8 自由意見	52

III. 資料（調査票）	76
--------------	----

I. 調査の概要

1 調査目的

本アンケート調査は、川崎町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて、町内在住の住民を対象にまちづくりに対するニーズ等を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

2 調査期間

- ・調査シートの配付

郵送配布：平成 27 年 8 月 12 日

- ・調査シートの回収

郵送回収：平成 27 年 8 月 17 日～8 月 31 日（9 月 30 まで回収期間延長）

3 調査方法

川崎町にお住まいの方で 15 歳から 59 歳を対象に、地域別の人口比率に基づき回答依頼者を無作為に抽出しました。

また、調査票の配布回収方法は、郵送配布・郵送回収方式としました。

4 調査内容

- 1 世帯の属性について（性別・年齢・職業・地区）
- 2 川崎町について（居住状況・住みやすさ・魅力）
- 3 まちづくりについて（人口減少・対策）
- 4 結婚について
- 5 出産・育児について
- 6 働くことについて
- 7 学生の将来について（進学・就職）

回答者の属性	
	性別、年齢、職業、居住地区
川崎町について（居住状況・住みやすさ・魅力）	
問 1	居住状況
問 1－1	川崎町に転入してきた理由
問 2	川崎町は住みやすいか
問 3	川崎町に暮らし続けたいか
問 3－1	引っ越す理由
問 4	川崎町の魅力
問 5	住みよさとは何か

人口減少社会におけるまちづくりについて	
問 6	人口減少問題に対する考え
問 7	人口減少が与える影響や不安要因
問 8	人口減少を克服するために重視すべきこと
問 9	川崎町はどの分野に力を入れるべきか
結婚について	
問 10	既婚か独身か
問 10-1	結婚していない理由
問 10-2	結婚に対する希望
問 11	町が重点的に取り組むべき結婚支援策
出産・育児について	
問 12	現在の子どもの数
問 13	将来の子どもの予定数
問 14	理想的な子どもの数
問 15	理想的な子どもの数を実現のための障害要因
問 16	出産・育児に関して村が力を入れるべきこと
働くことについて	
問 17	どこで働いているのか
問 17-1	働いていない理由
問 17-2	現在の仕事に満足しているか
問 17-3	労働環境で改善してほしい点
問 17-4	働く場所（町外で働く方）
問 17-5	町外で働く理由
問 18	今後、就職・転職の希望はあるか
問 18-1	どの分野の仕事を希望するのか（就職・転職を希望した方）
問 19	地域経済の活性化に向けた取り組み
学生に対する今後の進学や就職の希望について	
問 20	通学先
問 21	進学・就職先は町内、町外どちらを希望するか
問 21-1	町内に進学・就職したい理由
問 21-2	町外のどこに進学・就職したいか
問 21-3	川崎町を出たい理由
問 21-4	町外に進学・就職した後また町に戻りたいか
自由意見	

5 回収率

調査票配布数 : 1,000
返信調査票総数 : 366
回収率 : 36.6%

6 集計方法

(1) 集計等について

選択回答：回答者が選択した項目の単純集計

記述回答：原文のまま掲載

(2) 集計数値について

前提条件：記載のない限りは、無回答数はカウントしません。

1 つ選択の設問の場合：項目集計数を、無回答を除く回答者数で除した比率。

：％表記数値は、四捨五入表記のため必ずしも合計が
100%とならない場合があります。

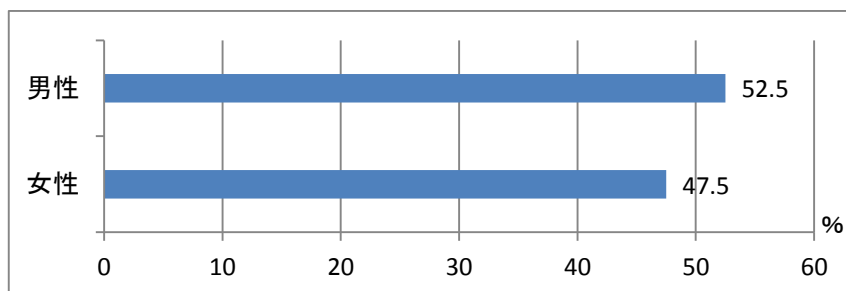
複数選択の設問の場合：項目集計数を、無回答を除く回答者数で除した比率。

：複数回答のため、回答全項目合計は 100%以上となります。

Ⅱ. 調査集計結果

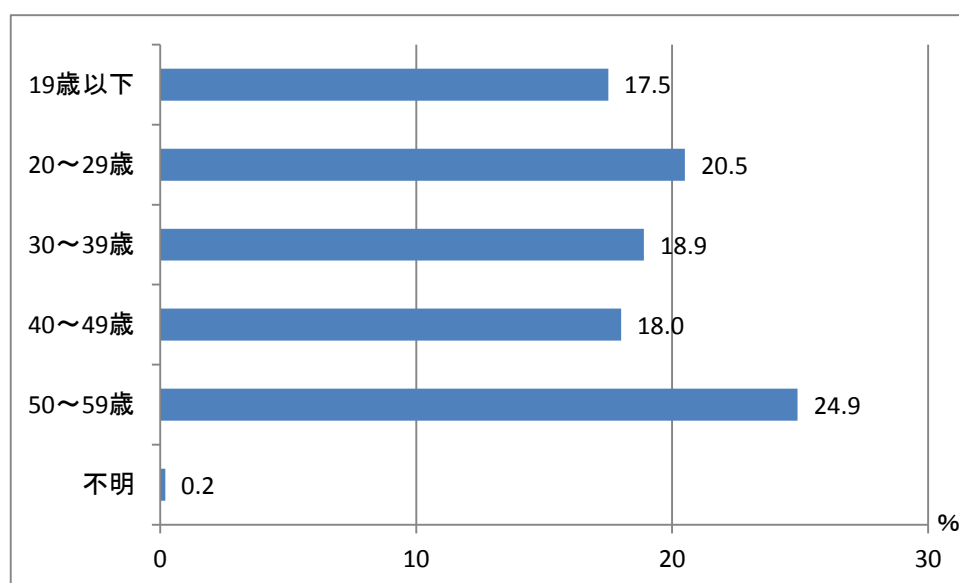
1 世帯の属性について

① 回答者の性別



「男性」が52.1%、「女性」が47.5%と男性がやや女性を上回っています。

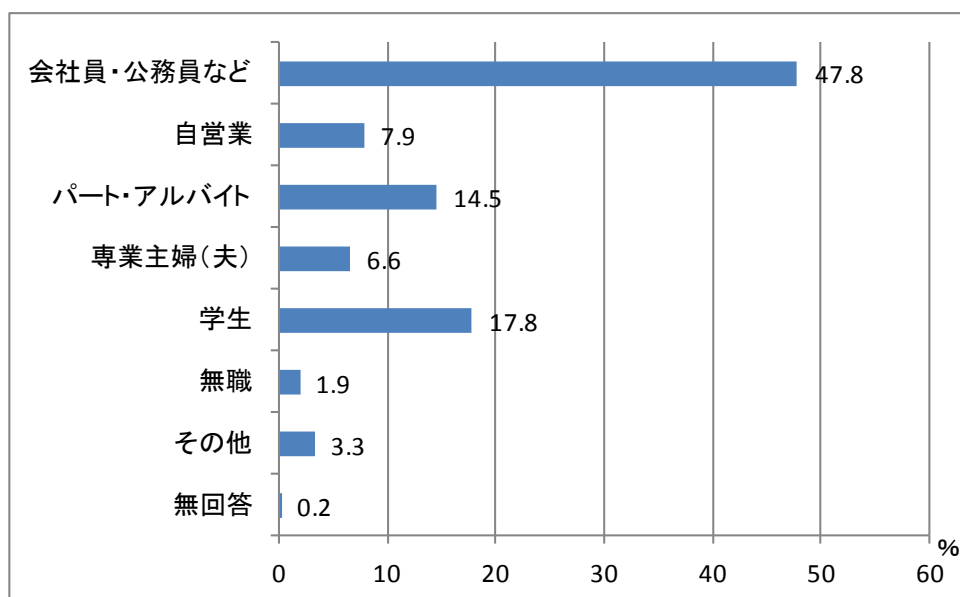
② 回答者の年齢



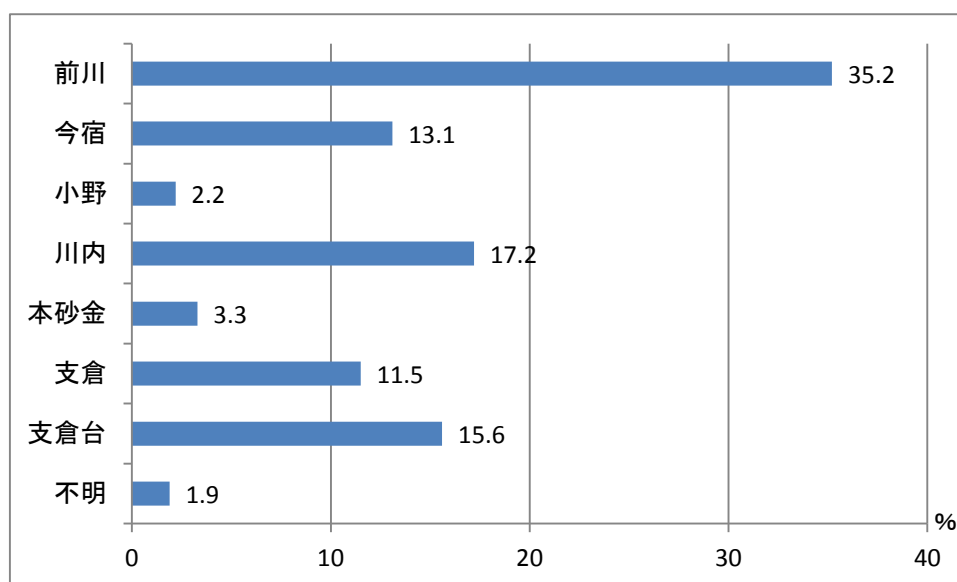
「50～59歳」が最も多く24.9%、次いで「20～29歳」が20.2%、「30～39歳」が18.9%となっています。

③ 現在の職業

「会社員・公務員など」が最も多く全体の47.8%を占めています、次いで「学生」が17.8%、「パート・アルバイト」が14.5%となっています。



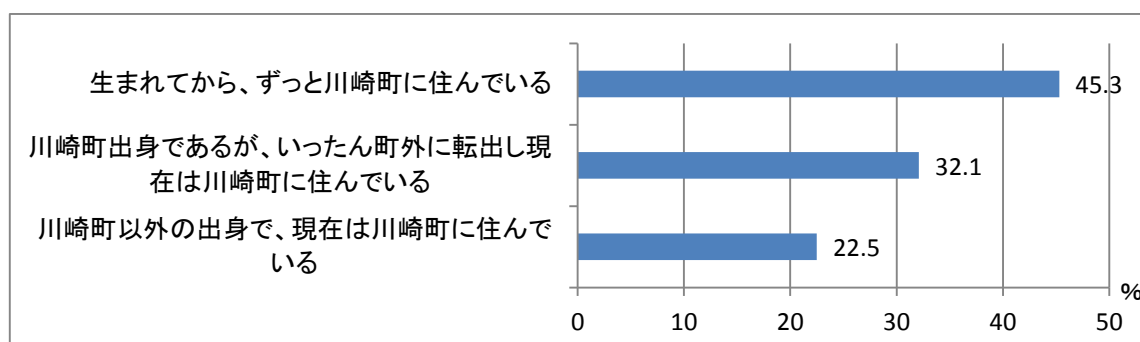
④ 現在のお住まいの地区



最も多いのが「前川地区」で35.2%、次いで「河内地区」が17.2%、「支倉地区」が15.6%となっています。

2 川崎町について

問1 居住状況について[無回答除く]



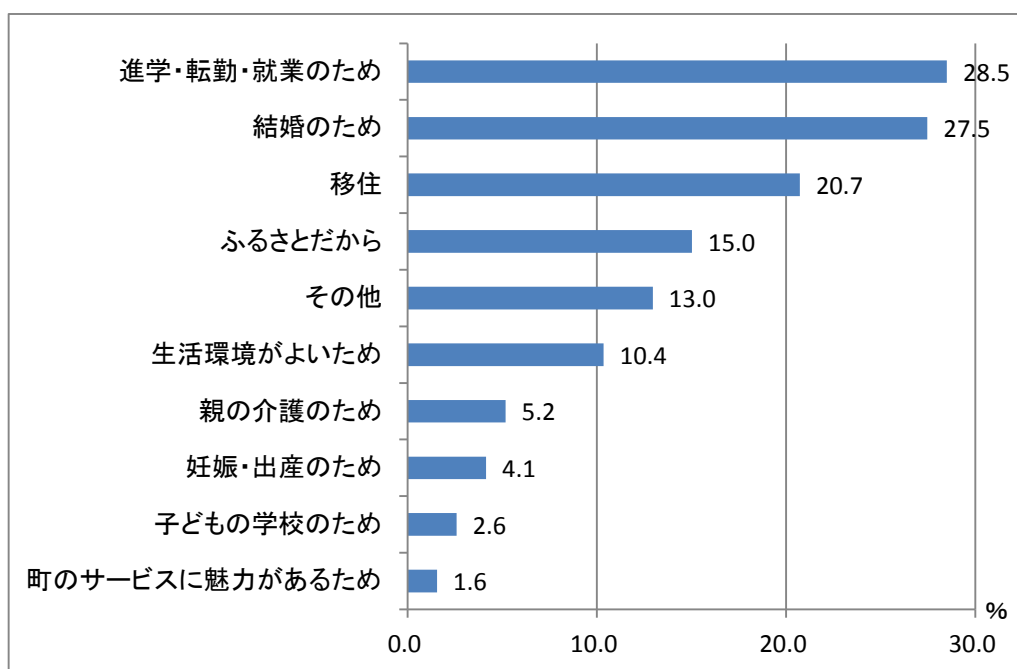
「生まれてから、ずっと川崎町に住んでいる」が最も多く45.3%を占めています。次いで「川崎町出身であるが、いったん町外に転出し現在は川崎町に住んでいる」（いわゆるUターン）が32.1%、「川崎町以外の出身で、現在は川崎町に住んでいる」（いわゆるI・Jターン）が22.5%となっており、UターンとI・Jターン者が合わせて54.6%と半数以上を占めています。

性別については男女ともに「生まれてから、ずっと川崎町に住んでいる」が最も多く、年齢別については40～49歳が他の年齢層に比べて高くなっています。

		生まれてから、ずっと川崎町に住んでいる	川崎町出身だが、いったん町外に転出し現在は川崎町に居住する	川崎町以外の出身、現在は川崎町に居住する
全体		165 45.3	117 32.1	82 22.5
①性別	男	87 45.8	38 20	65 34.2
	女	78 44.8	44 25.3	52 29.9
②年齢別	19歳以下	22 34.9	19 30.2	22 34.9
	20～29歳	37 49.3	15 20	23 30.7
	30～39歳	31 44.9	13 18.8	25 36.2
	40～49歳	36 54.5	11 16.7	19 28.8
	50～59歳	39 42.9	24 26.4	27 29.7

※上段：回答数 下段：比率（%）

問１－１ 転入してきた理由（川崎町出身であるが、いったん町外に転出した方、川崎町以外の出身の方限定）〔複数回答、無回答除く〕

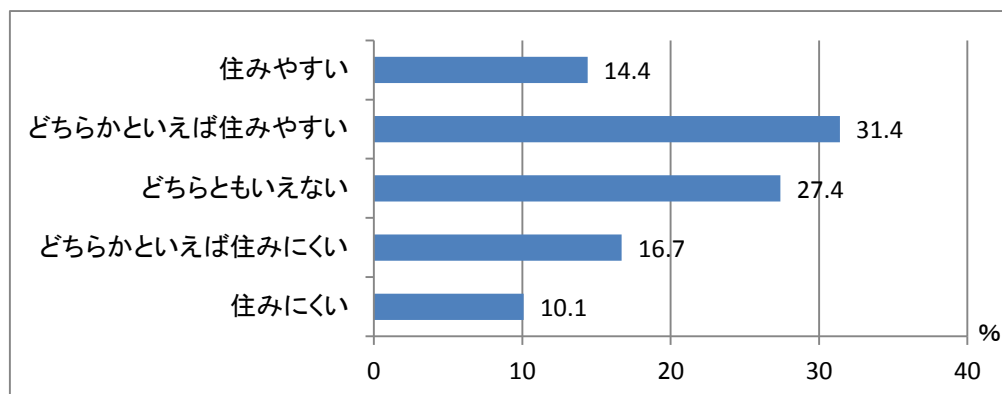


「進学・転勤・就業のため」が28.5%と最も多く、次いで「結婚のため」が27.5%、「移住」が20.7%となっています。

性別については、男性は「進学・転勤・就業のため」が16.1%と最も多く、女性は「結婚のため」が21.2%と最も多くなっています。年齢別には、29歳未満は「進学・転勤・就業のため」、30歳以上は「結婚のため」が最も高くなっています。

		進学 転勤 就業	結婚	妊娠 出産	子ども の学校	親の 介護	サービ スが 魅力	生活 環境が よい	ふる さと だから	移住	その他
全体		55 28.5	53 27.5	8 4.1	5 2.6	10 5.2	3 1.6	20 10.4	29 15.0	40 20.7	25 13.0
①性別	男	31 34.8	12 13.5	3 3.4	4 4.5	5 5.6	3 3.4	14 15.7	19 21.3	16 18.0	13 14.6
	女	24 23.1	41 39.4	5 4.8	1 1.0	5 4.8	0 0.0	6 5.8	10 9.6	24 23.1	12 11.5
②年齢	19歳以下	7 46.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7
	20～29歳	13 37.1	6 17.1	1 2.9	0 0.0	1 2.9	3 8.6	4 11.4	9 25.7	5 14.3	2 5.7
	30～39歳	10 25.6	14 35.9	4 10.3	2 5.1	2 5.1	0 0.0	3 7.7	6 15.4	6 15.4	4 10.3
	40～49歳	10 22.2	12 26.7	2 4.4	0 0.0	1 2.2	0 0.0	5 11.1	6 13.3	11 24.4	7 15.6
	50～59歳	15 25.4	21 35.6	1 1.7	1 1.7	6 10.2	0 0.0	8 13.6	6 10.2	12 20.3	11 18.6

問2 川崎町は住みやすいか。[無回答除く]



「住みやすい」14.4%と「どちらかといえば住みやすい」31.4%を合わせて45.8%が“住みやすい”と回答しています。一方、「住みにくい」10.1%と「どちらかといえば住みにくい」

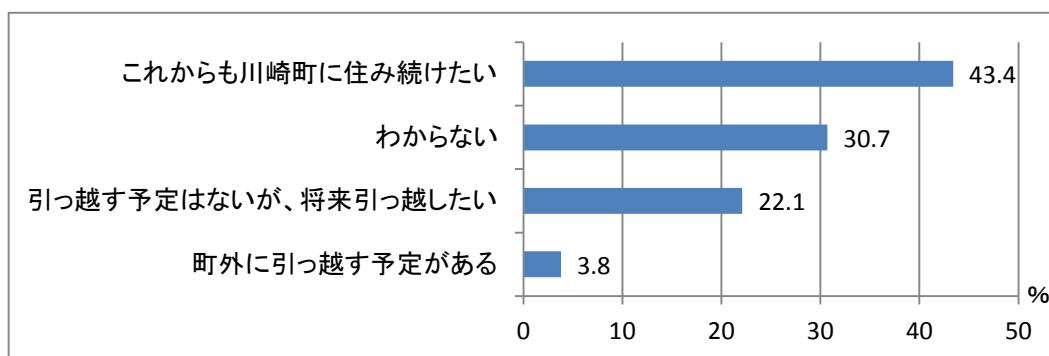
16.7%を合わせて26.7%と、住みやすいが“住みにくい”を大きく上回っています。

性別、年齢別とも大きな違いはみられず同じ傾向にあります。

地区別については、小野地区、本砂金地区、支倉地区、支倉台地区は「どちらかといえば住みにくい」「どちらともいえない」を回答する比率が高くなっており、住む場所によって生活環境に対する意識の違いがあることがわかります。

		住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらとも言え ない	どちらかと言う と住みにくい	住みにくい
全体		50 14.4	109 31.4	95 27.4	58 16.7	35 10.1
①性別	男	28 15.6	56 31.3	51 28.5	30 16.8	14 7.8
		22 13.1	53 31.5	44 26.2	28 16.7	21 12.5
	女	11 19.3	14 24.6	17 29.8	8 14	7 12.3
		8 11.1	22 30.6	18 25	15 20.8	9 12.5
②年齢	19歳以下	10 14.9	24 35.8	17 25.4	9 13.4	7 10.4
		8 12.9	19 30.6	14 22.6	16 25.8	5 8
	20～29歳	13 14.8	29 32.9	29 32.9	10 11.4	7 8
		10 15.7	24 39.7	17 26.4	9 14.0	7 4.1
	30～39歳	9 19.1	17 36.2	11 23.4	7 14.9	3 6.4
		1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7
③地区	前川	9 15.0	18 30.0	16 26.7	11 18.3	6 10.0
		1 9.1	1 9.1	4 36.4	3 27.3	2 18.2
	今宿	9 22.5	7 17.5	12 30.0	5 12.5	7 17.5
		2 3.6	14 25.5	17 30.9	12 21.8	10 18.2
	小野					
	川内					
	本砂金					
	支倉					
	支倉台					

問3 川崎町に暮らし続けたいか。[無回答除く]



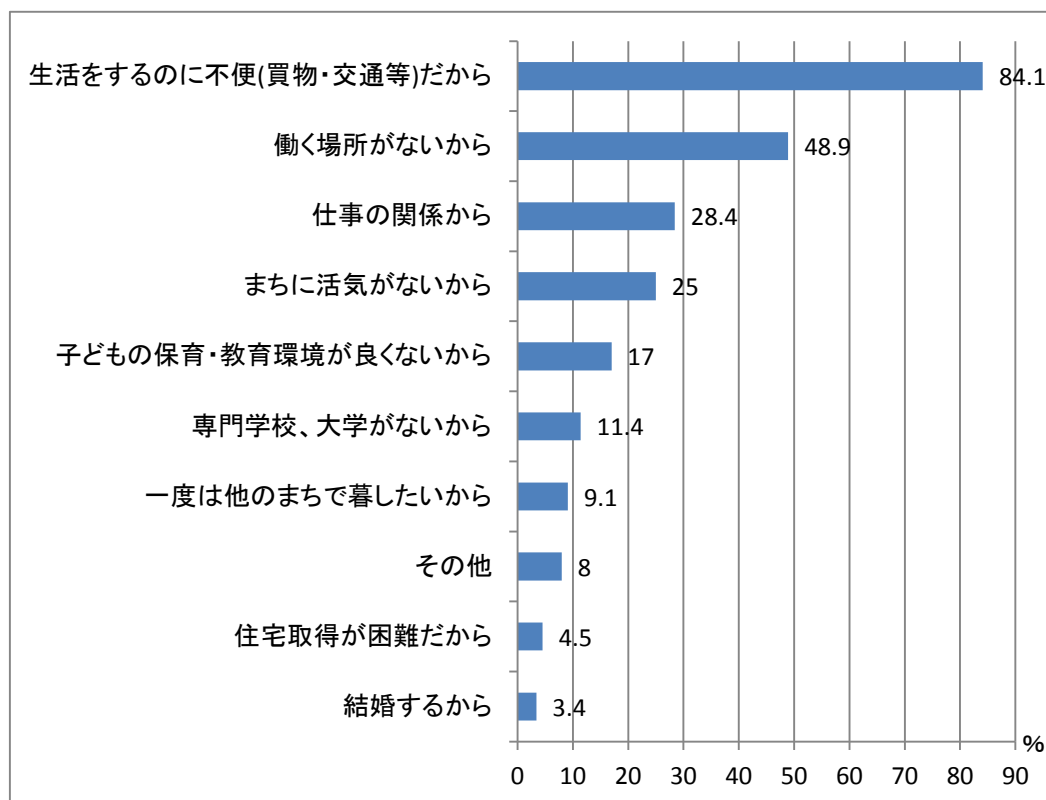
「これからも川崎町に住み続けたい」が43.4%と最も多く、次いで「わからない」が30.7%となっています。

年齢別については、19歳以下が「わからない」40.7%と最も高くなっており、若い年代での定住意向は比較的に低くなっています。

地区別については、小野地区が「わからない」85.7%と特に高くなっています。

		これからも川崎町に住み続けたい	町外に引っ越す予定がある	引っ越す予定はないが、将来引っ越したい	わからない
全体		147	13	75	104
		43.4	3.8	22.1	30.7
①性別	男	88	2	34	51
		50.3	1.1	19.4	29.1
	女	59	11	41	53
		36	6.7	25	32.3
②年齢	19歳以下	9	7	19	24
		15.3	11.9	32.2	40.7
	20～29歳	29	4	14	24
		40.8	5.6	19.7	33.8
	30～39歳	28	2	16	19
		43.1	3.1	24.6	29.2
	40～49歳	32	0	12	14
		55.2	0.0	20.7	24.1
	50～59歳	48	0	14	23
		56.5	0.0	16.5	27.1
③地区	前川	56	6	27	28
		47.9	5.1	23.1	23.9
	今宿	22	1	9	15
		46.8	2.1	19.1	31.9
	小野	1	0	0	6
		14.3	0.0	0.0	85.7
	川内	25	1	15	19
		41.7	1.7	25.0	31.7
	本砂金	5	1	2	2
		50.0	10.0	20.0	20.0
	支倉	18	2	5	15
		45.0	5.0	12.5	37.5
	支倉台	19	1	14	18
		36.5	1.9	26.9	34.6

問3-1 引っ越し理由。(引っ越し予定がある、将来引っ越したい方限定) [無回答除く、複数回答]



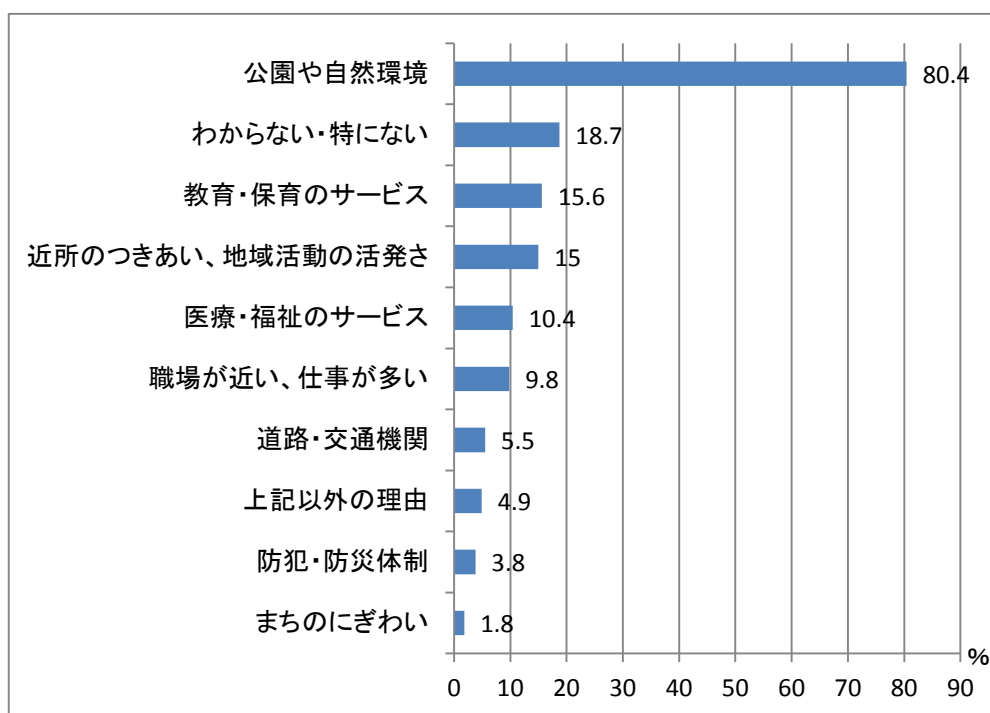
「生活をするのに不便(買物・交通等)だから」が84.1%と最も多く、次いで「働く場所がないから」が48.9%、「仕事の関係から」が28.4%となっています。

性別、年齢別についても生活をするのに不便と感じている方が最も多く、次いで「働く場所がないから」であり、生活と仕事は密接な関係にあると言えます。

地区別については、今宿地区が「働く場所がないから」の回答する比率が最も高くなっています。

		生活をするのに不便	子どもの保育・教育環境が良くない	まちに活気がない	働く場所がない	仕事の関係	住宅取得が困難	結婚するから	一度は他のまちで暮したい	専門学校、大学がない	その他
全体		74 84.1	15 17.0	22 25.0	43 48.9	25 28.4	4 4.5	3 3.4	8 9.1	10 11.4	7 8.0
①性別	男	31 77.5	6 15.0	13 32.5	17 42.5	11 27.5	2 5.0	0 0.0	4 10.0	4 10.0	3 7.5
	女	43 81.1	9 17.0	9 17.0	26 49.1	14 26.4	2 3.8	3 5.7	4 7.5	6 11.3	4 7.5
②年齢	19歳以下	20 71.4	0 0.0	4 14.3	10 35.7	8 28.6	0 0.0	2 7.1	5 17.9	8 28.6	1 3.6
	20～29歳	19 95.0	2 10.0	4 20.0	12 60.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0
	30～39歳	12 75.0	7 43.8	5 31.3	9 56.3	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	10 90.9	3 27.3	4 36.4	7 63.6	3 27.3	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	13 72.2	3 16.7	5 27.8	5 27.8	3 16.7	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 22.2
	前川	25 73.5	6 17.6	5 14.7	14 41.2	10 29.4	1 2.9	1 2.9	4 11.8	5 14.7	1 2.9
	今宿	6 54.5	2 18.2	4 36.4	6 54.5	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2
	小野	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
③地区	川内	15 93.8	2 12.5	5 31.3	9 56.3	5 31.3	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5
	本砂金	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	支倉	8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	支倉台	13 86.7	2 13.3	3 20.0	7 46.7	3 20.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0

問4 川崎町の魅力はどうか。[無回答除く、複数回答]

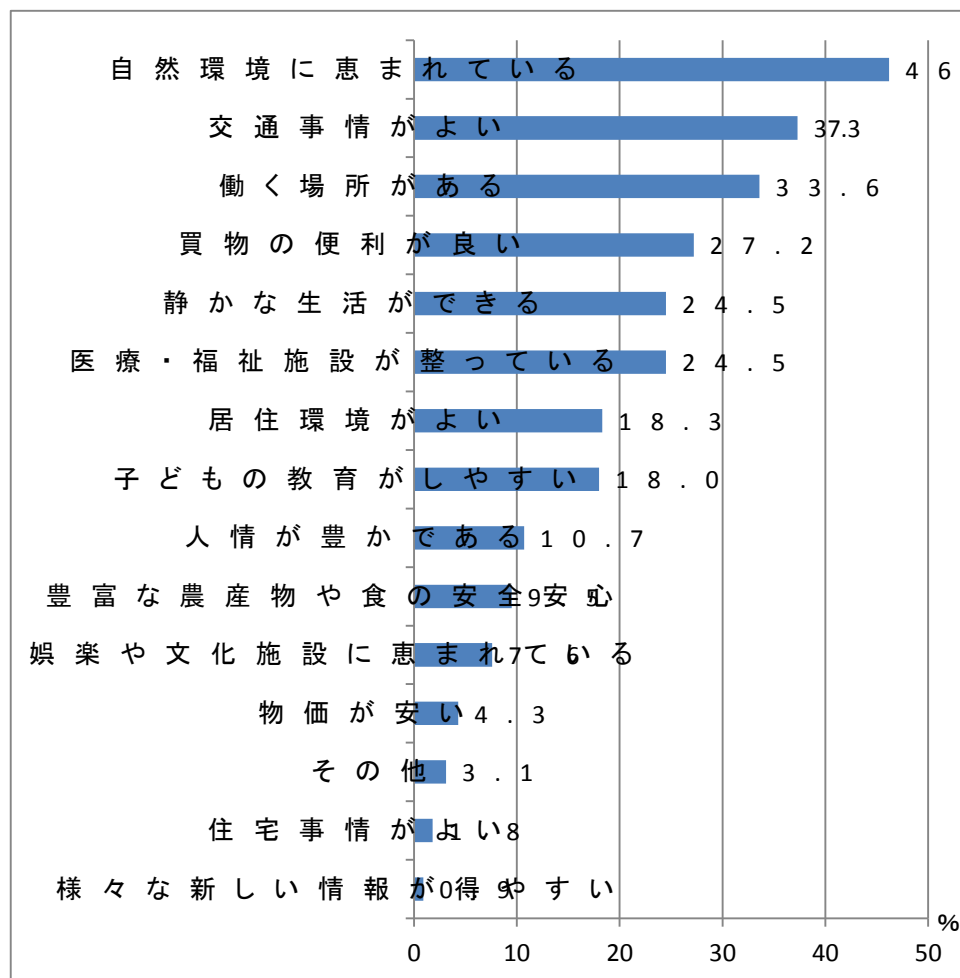


最も多いのが「公園や自然環境」で80.4%、次いで「わからない・特にな」、「教育・保育のサービス」が15.6%、「近所のつきあい、地域活動の活発さ」が15.0%となっています。

性別、年齢についても「公園や自然環境」が最も高く、全体と同じ傾向にあります。

		公園や自然環境	道路・交通機関	職場に近い、仕事が多い	防犯・防災体制	教育・保育のサービス	医療・福祉のサービス	近所のつきあい、地域活動の活発さ	まちのにぎわい	上記以外の理由	わからない・特にな
全体		263	18	32	13	51	34	49	6	16	61
		80.4	5.5	9.8	4.0	15.6	10.4	15.0	1.8	4.9	18.7
①性別	男	138	14	18	7	26	18	28	3	10	29
		82.1	8.3	10.7	4.2	15.5	10.7	8.6	1.8	6.0	17.3
	女	125	4	14	6	25	16	21	3	6	32
		78.6	2.5	8.8	3.8	15.7	10.1	13.2	1.9	3.8	20.1
②年齢	19歳以下	53	4	1	2	9	9	14	4	1	6
		89.8	6.8	1.7	3.4	15.3	15.3	23.7	6.8	1.7	10.2
	20～29歳	56	4	3	3	15	5	11	2	2	9
		82.4	5.9	4.4	4.4	22.1	7.4	16.2	2.9	2.9	13.2
	30～39歳	51	1	11	1	13	8	7	0	4	11
		81.0	1.6	17.5	1.6	20.6	12.7	11.1	0.0	6.3	17.5
	40～49歳	44	1	5	3	8	6	7	0	3	8
		80.0	1.8	9.1	5.5	14.5	10.9	12.7	0.0	5.5	14.5
	50～59歳	59	8	12	4	6	6	10	0	6	27
		72.0	9.8	14.6	4.9	7.3	7.3	12.2	0.0	7.3	32.9

問5 住みよさとは何か。[無回答除く、複数回答]



「自然環境に恵まれている」が46.2%と最も多く、次いで「交通事情がよい」が37.3%、

「働く場所がある」が33.6%となっています。

性別、年齢別についてみると、男性に比べて19歳以下と40～49歳の女性が「交通事情がよい」を回答する方が多くなっており、買物等で車を利用する頻度の高い女性の意見が表われています。

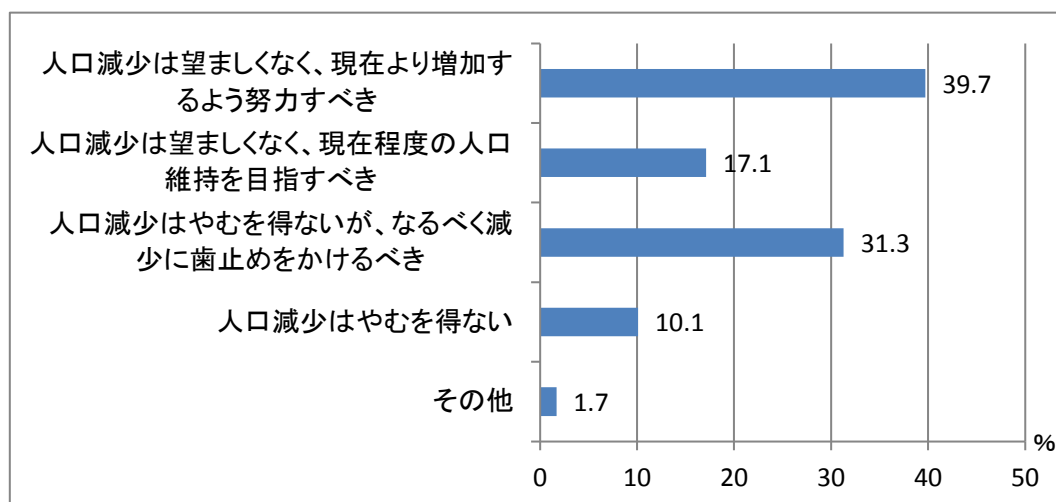
		自然環境 に恵まれて いる	働く場所 がある	居住環境 がよい	住宅事情 がよい	交通事情 がよい	娯楽や文 化施設に 恵まれて いる	医療・福 祉施設が 整って いる	子どもの 教育がし やすい
全体		151	110	61	6	122	25	80	59
		46.2	33.6	18.7	1.8	37.3	7.6	24.5	18.0
①性別	男	87	58	40	3	53	16	32	23
		51.5	34.3	23.7	1.8	31.4	9.5	18.9	13.6
	女	64	52	21	3	69	9	48	36
		40.5	32.9	13.3	1.9	43.7	5.7	30.4	22.8
②年齢	19歳以下	26	16	10	0	36	7	16	5
		44.1	27.1	16.9	0.0	61.0	11.9	27.1	8.5
	20～29歳	32	21	8	4	23	10	11	16
		47.8	31.3	11.9	6.0	34.3	14.9	16.4	23.9
	30～39歳	31	23	9	0	16	5	17	19
		48.4	35.9	14.1	0.0	25.0	7.8	26.6	29.7
	40～49歳	21	17	16	1	23	1	13	9
		40.5	32.9	13.3	1.9	43.7	5.7	30.4	22.8
	50～59歳	41	33	18	1	24	2	23	10
		40.5	32.9	13.3	1.9	43.7	5.7	30.4	22.8

上表の続き

		買物の便 利が良い	物価が 安い	静かな生 活ができ る	人情が豊 かである	様々な新 しい情報 が得やす い	豊富な農 産物や食 の安全 安心	その他
全体		89	14	80	35	3	31	10
		27.2	4.3	24.5	10.7	0.9	9.5	3.1
①性別	男	42	5	45	21	2	18	5
		24.9	3.0	26.6	12.4	1.2	10.7	3.0
	女	47	9	35	14	1	13	5
		29.7	5.7	22.2	8.9	0.6	8.2	3.2
②年齢	19歳以下	18	0	7	9	0	9	1
		30.5	0.0	11.9	15.3	0.0	15.3	1.7
	20～29歳	19	1	17	10	2	1	3
		28.4	1.5	25.4	14.9	3.0	1.5	4.5
	30～39歳	21	4	19	2	1	7	0
		32.8	6.3	29.7	3.1	1.6	10.9	0.0
	40～49歳	16	1	18	6	0	4	1
		29.7	5.7	22.2	8.9	0.6	8.2	3.2
	50～59歳	15	8	19	8	0	10	5
		29.7	5.7	22.2	8.9	0.6	8.2	3.2

3 まちづくりについて

問6 人口減少社会におけるまちづくりについて。[無回答除く]

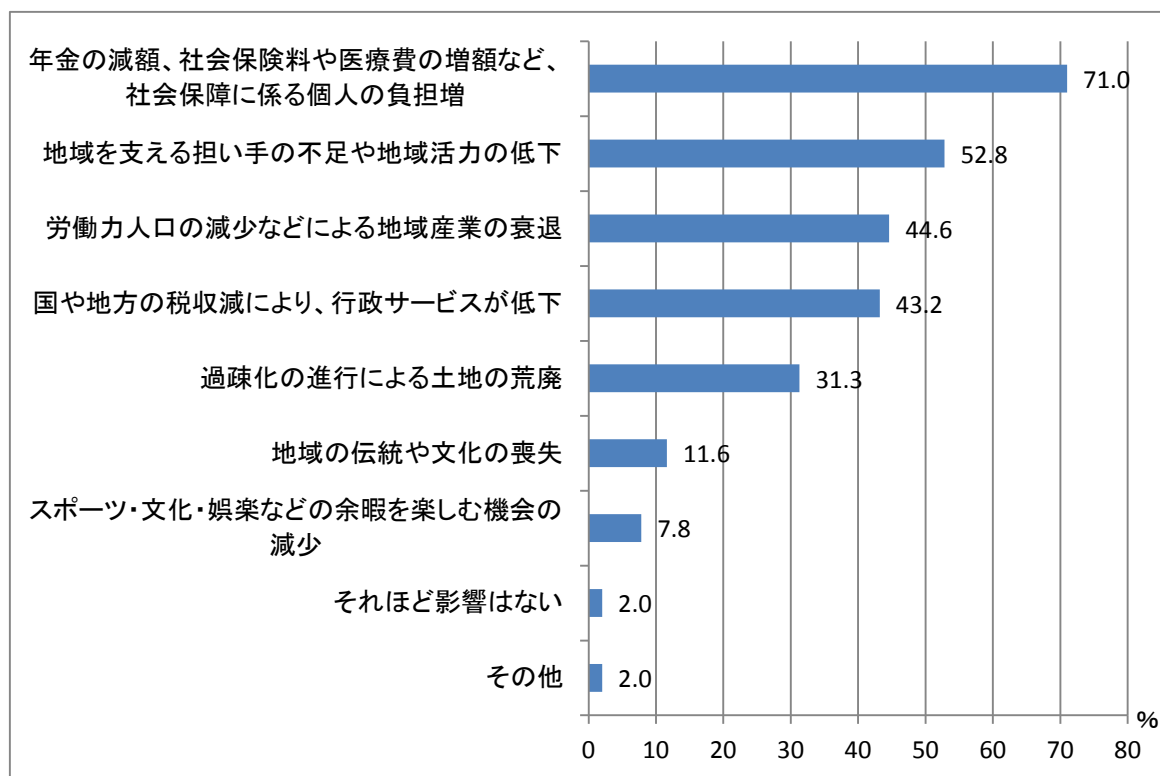


“人口減少は望ましくない”とする意見が合わせて 56.8%と“人口減少はやむを得ない”とする意見の 41.4%を上回っています。

性別、年齢別については、大きな違いはありませんが、20～29 歳の若い層で“人口減少はやむを得ない”と回答する比率が高く気になる所です。

		人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力する	人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指す	人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかける	人口減少はやむを得ない	その他
全体		137 39.7	59 17.1	108 31.3	35 10.1	6 1.7
①性別	男	68 38.0	32 17.9	53 29.6	21 11.7	5 2.8
	女	69 41.6	27 16.3	55 33.1	14 8.4	1 0.6
②年齢	19歳以下	30 49.2	8 13.1	19 31.1	4 6.6	0 0.0
	20～29歳	21 29.2	12 16.7	25 34.7	13 18.1	1 1.4
	30～39歳	26 40.0	13 20.0	18 27.7	7 10.8	1 1.5
	40～49歳	26 42.6	8 13.1	24 39.3	3 4.9	0 0.0
	50～59歳	33 38.8	18 21.2	22 25.9	8 9.4	4 4.7

問7 人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について。[無回答除く、複数回答]



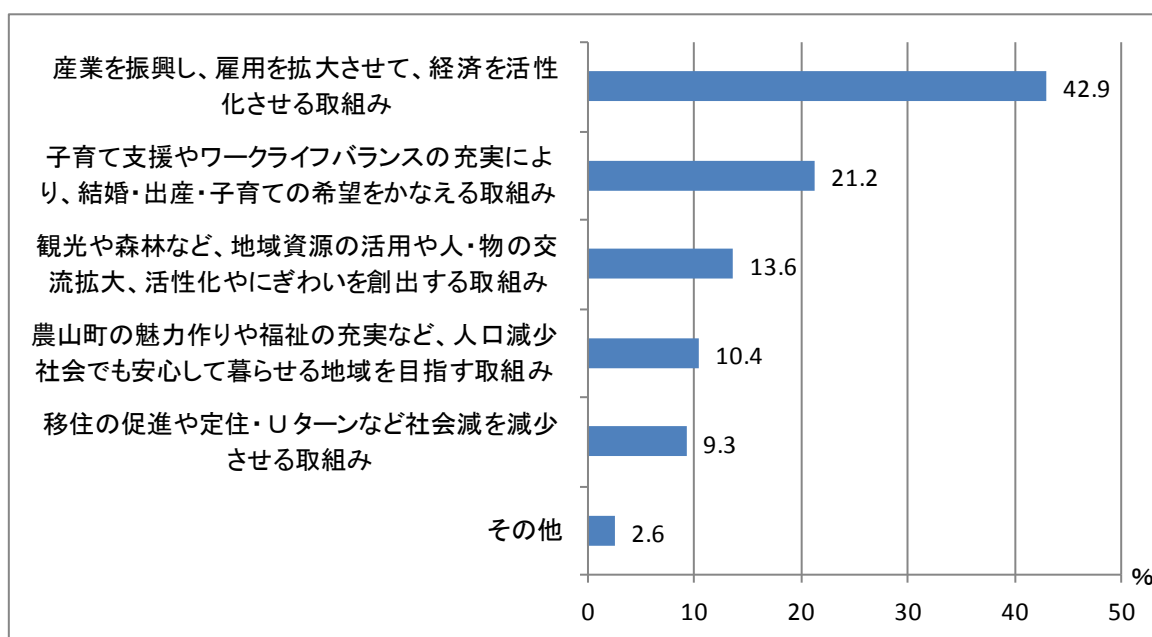
「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増」が71.0%と

最も多く、次いで「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」が52.8%、「労働力人口の減少などによる地域産業の衰退」が44.6%となっています。

性別、年齢別についても、ほぼ同じ傾向になっています。

		国や地方 の税収減 により、行 政サービ スが低下	年金の減 額、社会 保険料や 医療費の 増額等、 社会保障 に係る負 担増	地域を支 える担い 手の不足 や地域活 力の低下	過疎化の 進行によ る土地の 荒廃	労働力人 口の減少 などによる 地域産業 の衰退	地域の伝 統や文化 の喪失	スポーツ・ 文化・娯 楽などの 余暇を楽 しむ機会 の減少	それほど 影響はな い	その他
全体		149	245	182	108	154	40	27	7	7
		43.2	71.0	52.8	31.3	44.6	11.6	7.8	2.0	2.0
①性別	男	83	121	97	58	84	27	14	4	3
		46.4	67.6	54.2	32.4	46.9	15.1	7.8	2.2	1.7
	女	66	124	85	50	70	13	13	3	4
		39.8	74.7	51.2	30.1	42.2	7.8	7.8	1.8	2.4
②年齢	19歳以下	19	35	28	15	26	15	9	1	2
		31.1	57.4	45.9	24.6	42.6	24.6	14.8	1.6	3.3
	20～29歳	29	48	36	15	30	12	7	3	3
		40.8	67.6	50.7	21.1	42.3	16.9	9.9	4.2	4.2
	30～39歳	30	45	36	18	29	3	6	0	1
		46.2	69.2	55.4	27.7	44.6	4.6	9.2	0.0	1.5
	40～49歳	32	51	31	21	33	4	2	1	0
		51.6	82.3	50.0	33.9	53.2	6.5	3.2	1.6	0.0
	50～59歳	39	65	50	38	36	6	3	2	1
		45.9	76.5	58.8	44.7	42.4	7.1	3.5	2.4	1.2

問8 活力ある社会を目指して、今後取組むべきこと。[無回答除く]

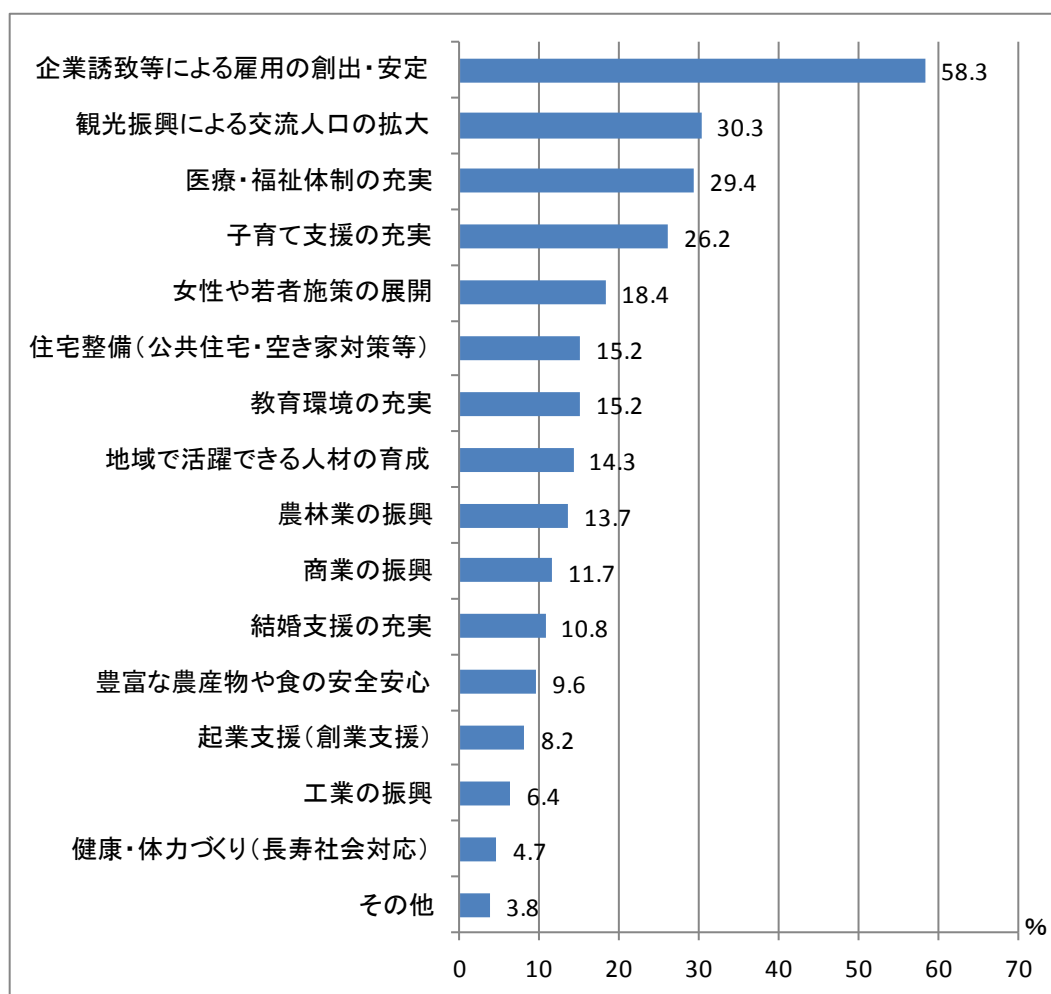


「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組み」が最も多く 42.9%となっています。

性別については“結婚・出産・子育て支援”を選んだのが男性に比べて女性の比率が高くなっています。年齢別については特に大きな違いは見られません。

		産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組み	移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組み	ワークライフバランスの充実、結婚・出産・子育て支援	町の魅力作りや福祉の充実・人口減少社会に対応した地域づくり	観光や森林など、地域資源の活用や人・物の交流、地域の活性化・にぎわいを創出	その他
全体		148	32	73	36	47	9
		42.9	9.3	21.2	10.4	13.6	2.6
①性別	男	78	15	33	19	27	6
		43.8	8.4	18.5	10.7	15.2	3.4
	女	70	17	40	17	20	3
		41.9	10.2	24.0	10.2	12.0	1.8
②年齢	19歳以下	25	6	15	4	8	4
		40.3	9.7	24.2	6.5	12.9	6.5
	20～29歳	26	5	22	7	9	2
		36.6	7.0	31.0	9.9	12.7	2.8
	30～39歳	34	4	14	4	8	1
		52.3	6.2	21.5	6.2	12.3	1.5
	40～49歳	28	8	10	9	7	
		45.2	12.9	16.1	14.5	11.3	0.0
	50～59歳	34	9	12	12	15	2
		40.5	10.7	14.3	14.3	17.9	2.4

問9 川崎町はさらにどのような分野に力を入れるべきか。[無回答除く、複数回答]



「企業誘致等による雇用の創出・安定」が58.3%と最も多く、次いで「観光振興による交流人口の拡大」が30.3%、「医療・福祉体制の充実」が29.4%となっています。

性別、年齢別についても、ほぼ同じ傾向となっており、働く場所の確保は住民の共通する課題であると言えます。

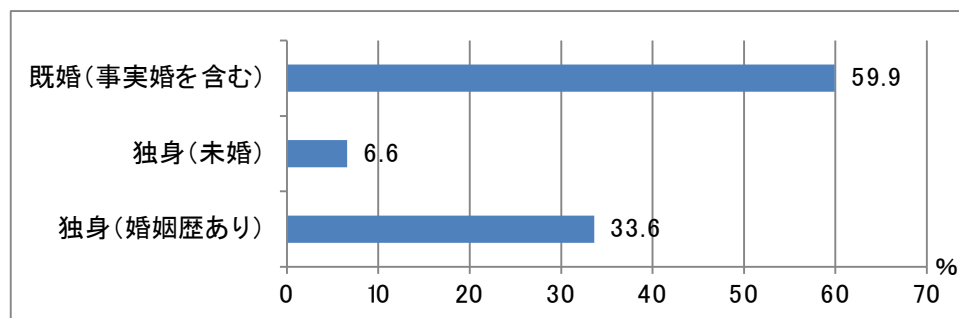
		企業誘致等による雇用の創出・安定	観光振興による交流人口拡大	農林業の振興	工業の振興	商業の振興	起業支援(創業支援)	子育て支援の充実	医療・福祉体制の充実
全体		200	104	47	22	40	28	90	101
		58.3	30.3	13.7	6.4	11.7	8.2	26.2	29.4
①性別	男	111	56	30	15	21	20	44	44
		62.7	31.6	16.9	8.5	11.9	11.3	24.9	24.9
	女	89	48	17	7	19	8	46	57
		53.6	28.9	10.2	4.2	11.4	4.8	27.7	34.3
②年齢	19歳以下	19	25	11	2	7	5	10	10
		31.1	41.0	18.0	3.3	11.5	8.2	16.4	16.4
	20～29歳	34	17	7	4	10	5	26	21
		47.9	23.9	9.9	5.6	14.1	7.0	36.6	29.6
	30～39歳	45	21	7	5	10	5	21	18
		70.3	32.8	10.9	7.8	15.6	7.8	32.8	28.1
	40～49歳	46	15	7	3	4	4	16	23
		74.2	24.2	11.3	4.8	6.5	6.5	25.8	37.1
	50～59歳	55	26	15	8	9	9	17	29
		65.5	31.0	17.9	9.5	10.7	10.7	20.2	34.5

上表の続き

		教育環境の充実	住宅整備(公共住宅・宅地開発・空き家対策)	健康・体力づくり(長寿社会対応)	女性や若者施策の展開	結婚支援の充実	豊富な農産物や食の安全安心	地域で活躍できる人材の育成	その他
全体		52	52	16	63	37	33	49	13
		15.2	15.2	4.7	18.4	10.8	9.6	14.3	3.8
①性別	男	28	28	5	30	24	19	22	7
		15.8	15.8	2.8	16.9	13.6	10.7	12.4	4.0
	女	24	24	11	33	13	14	27	6
		14.5	14.5	6.6	19.9	7.8	8.4	16.3	3.6
②年齢	19歳以下	9	11	5	12	4	12	8	5
		14.8	18.0	8.2	19.7	6.6	19.7	13.1	8.2
	20～29歳	13	8	2	19	11	7	7	2
		18.3	11.3	2.8	26.8	15.5	9.9	9.9	2.8
	30～39歳	14	10	0	8	5	4	8	3
		21.9	15.6	0.0	12.5	7.8	6.3	12.5	4.7
	40～49歳	9	13	5	9	6	5	11	0
		14.5	21.0	8.1	14.5	9.7	8.1	17.7	0.0
	50～59歳	7	10	4	15	11	5	15	3
		8.3	11.9	4.8	17.9	13.1	6.0	17.9	3.6

4 結婚について

問 10 結婚について。[学生、無回答除く]

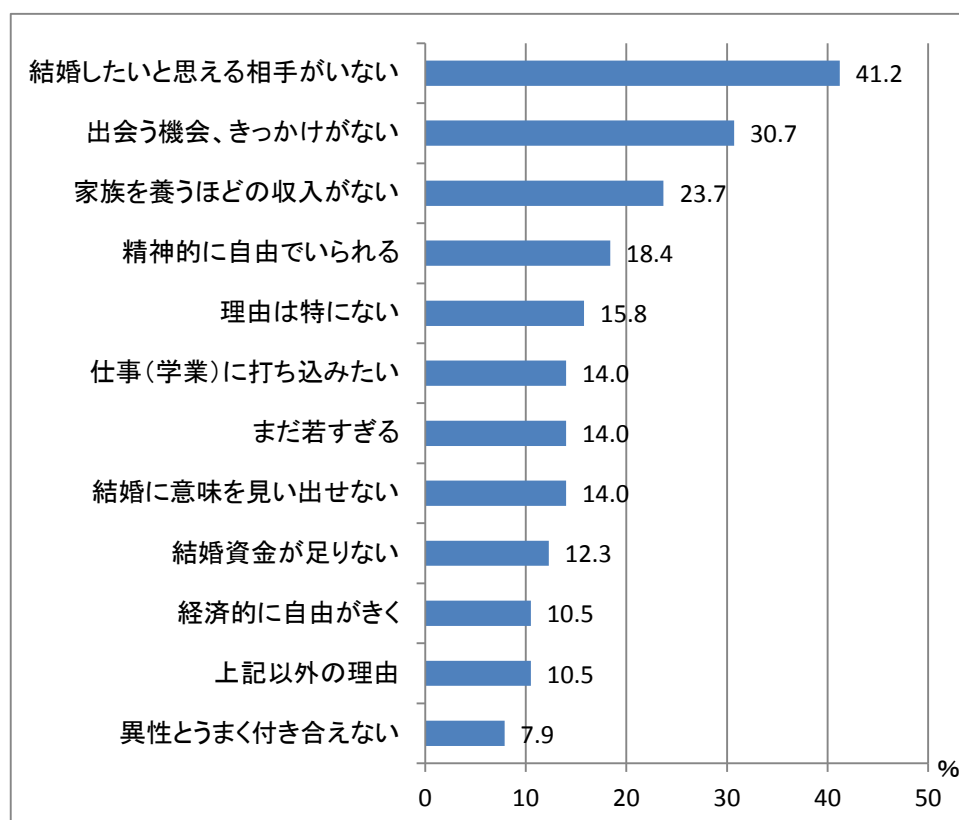


「既婚（事実婚を含む）」が59.9%とほぼ約6割を占めていますが、「独身（未婚）」も33.6%と高い割合となっています。

性別をみると男性が女性に比べて独身率が高く、反対に既婚率が低くなっています。年代別については、20～29歳の若い層の独身率が74.0%と最も高く、反対に既婚率が26.0%と最も低くなっています。また、30～39歳についても独身が合わせて約45.0%を占めており、結婚の晩婚化がみられます。

		独身(未婚)	独身(婚姻歴あり)	既婚(事実婚を含む)
全体		97	19	173
		33.6	6.6	59.9
①性別	男	58	11	86
		37.4	7.1	55.5
	女	39	8	87
		29.1	6.0	64.9
②年齢	20～29歳	54	0	19
		74.0	0.0	26.0
	30～39歳	25	5	37
		37.3	7.5	55.2
	40～49歳	9	6	50
		13.8	9.2	76.9
	50～59歳	9	8	66
		10.8	9.6	79.5

問 10ー1 結婚していない理由。(独身の方限定) [学生、無回答除く、複数回答]



「結婚したいと思える相手がいない」が41.2%と最も多く、「出会う機会、きっかけがない」が30.7%、「家族を養うほど収入がない」が23.7%となっています。

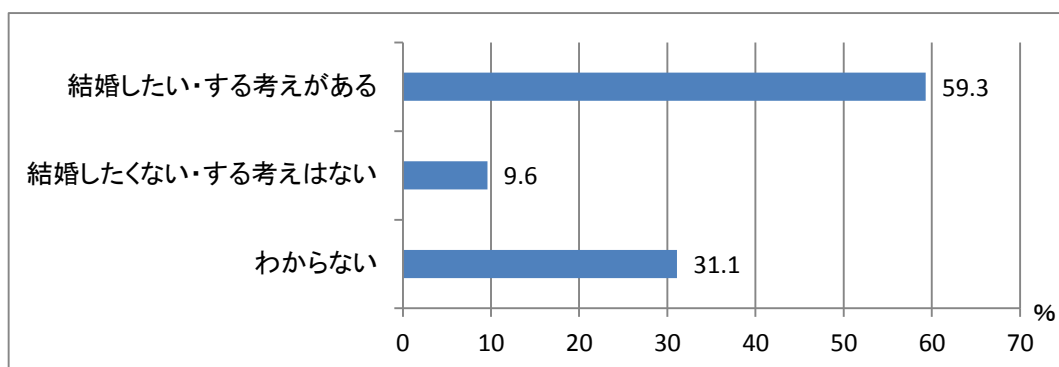
性別については、男性が「家族を養うほど収入がない」の比率が高いのに対して女性は低く、反対に「精神的に自由」を回答した比率は男性に比べ女性が高くなっているなど、結婚に対する考え方が男女により大きく違う事がわかる。年代別については、20～29歳の層では「まだ若すぎる」が2番目に高くなっている一方40～49歳の層では「出会う機会、きっかけがない」が最も高くなっており、世代別に違う課題や問題がみられます。

		結婚したい相手がいない	家族を養う収入がない	精神的に自由	経済的に自由	異性とうまく付き合えない	仕事に打ち込みたい
全体		47	27	21	12	9	16
		41.2	23.7	18.4	10.5	7.9	14.0
①性別	男	25	24	8	6	5	10
		36.2	34.8	11.6	8.7	7.2	14.5
	女	22	3	13	6	4	6
		48.9	6.7	28.9	13.3	8.9	13.3
②年齢	20～29歳	22	13	9	9	4	10
		40.7	24.1	16.7	16.7	7.4	18.5
	30～39歳	13	7	6	2	2	3
		44.8	24.1	20.7	6.9	6.9	10.3
	40～49歳	5	5	2	0	2	2
		33.3	33.3	13.3	0.0	13.3	13.3
	50～59歳	7	2	4	1	1	1
		43.8	12.5	25.0	6.3	6.3	6.3

上表の続き

		結婚資金が足りない	まだ若すぎる	出会う機会がない	結婚に興味を見い出せない	理由は特にない	上記以外の理由
全体		14	16	35	16	18	12
		12.3	14.0	30.7	14.0	15.8	10.5
①性別	男	10	11	22	6	12	7
		14.5	15.9	31.9	8.7	17.4	10.1
	女	4	5	13	10	6	5
		8.9	11.1	28.9	22.2	13.3	11.1
②年齢	20～29歳	9	15	15	8	5	3
		16.7	27.8	27.8	14.8	9.3	5.6
	30～39歳	1	1	9	4	4	4
		3.4	3.4	31.0	13.8	13.8	13.8
	40～49歳	3	0	7	3	2	3
		20.0	0.0	46.7	20.0	13.3	20.0
	50～59歳	1	0	4	1	7	2
		6.3	0.0	25.0	6.3	43.8	12.5

問 10-2 結婚に対する希望。[無回答除く]

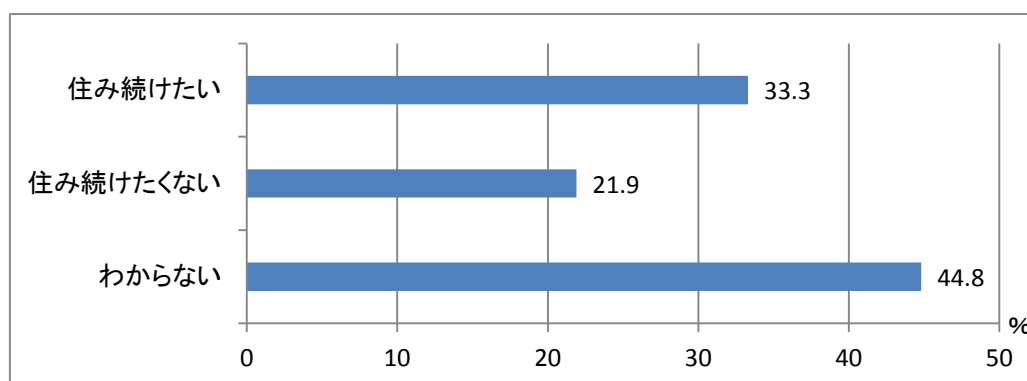


「結婚したい・する考えがある」が59.3%と全体の約6割を占めています、一方、「結婚したくない・する考えはない」は9.6%と比較的に低くなっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		結婚したい・する 考えがある	結婚したくない・ する考えはない	わからない
全体		99 59.3	16 9.6	52 31.1
①性別	男	52 60.5	8 9.3	26 30.2
		47 58.0	8 9.9	26 32.1
	女	38 69.1	1 1.8	16 29.1
		34 64.2	3 5.7	16 30.2
②年齢	19歳以下	17 63.0	2 7.4	8 29.6
		7 46.7	4 26.7	4 26.7
	20～29歳	3 17.6	6 35.3	8 47.1
	30～39歳			

問 10ー3 結婚後も川崎町に住み続けたいか。(結婚したい・する方限定)

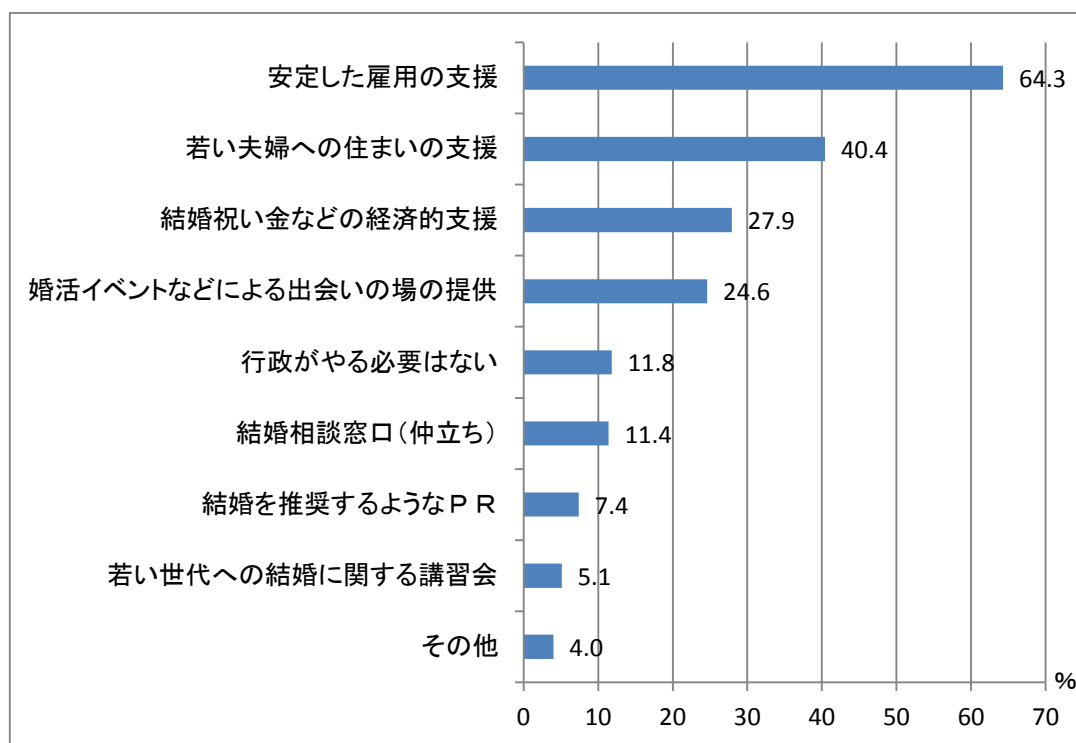


「わからない」が45.8%と最も多く、次いで「住み続けたい」が33.3%、「住み続けたくない」が20.8%となっています。

性別については、男性が「住み続けたい」が48.0%と最も多くなったのに対して女性は「わからない」が47.8%と最も多くなっており、男女の考え方の違いが見られました。年齢別については、29歳以下が「わからない」を最も多く回答したのに対して、30～59歳は「住み続けたい」を回答する方が最も多くなり、比較的若い層と高い層との違いがみられました。

		住み続けたい	住み続けたくない	わからない
全体		32	21	43
		33.3	21.9	44.8
①性別	男	24	5	21
		48.0	10.0	42.0
	女	8	16	22
		17.4	34.8	47.8
②年齢	19歳以下	7	12	17
		19.4	33.3	47.2
	20～29歳	10	8	15
		30.3	24.2	45.5
	30～39歳	10	1	7
		55.6	5.6	38.9
	40～49歳	3	0	3
		50.0	0.0	50.0
	50～59歳	2	0	1
		66.7	0.0	33.3

問 11 町が取り組むべき結婚支援策は何。[無回答除く、複数回答]



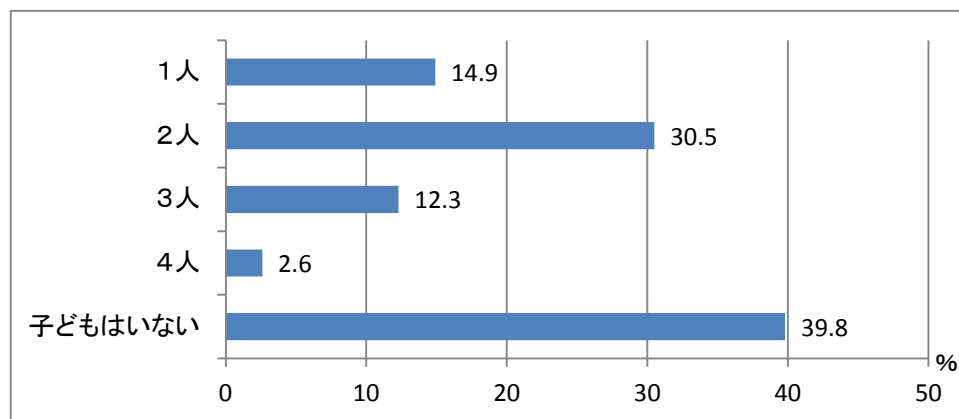
「安定した雇用の支援」が64.3%と最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が40.4%、「結婚祝い金などの経済的支援」が27.9%となっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		安定した雇用の支援	若い夫婦への住まいの支援	結婚祝い金などの経済的支援	出会いの場の提供	結婚相談窓口	結婚に関する講習会	結婚を推奨するようなPR	行政がやる必要なし	その他
全体		175 64.3	110 40.4	76 27.9	67 24.6	31 11.4	14 5.1	20 7.4	32 11.8	11 4.0
①性別	男	77 60.2	73 57.0	32 25.0	30 23.4	18 14.1	5 3.9	14 10.9	14 10.9	9 7.0
	女	98 68.1	37 25.7	44 30.6	37 25.7	13 9.0	9 6.3	6 4.2	18 12.5	2 1.4
②年齢	19歳以下	37 69.8	16 30.2	24 45.3	3 5.7	1 1.9	3 5.7	1 1.9	7 13.2	0 0.0
	20～29歳	45 71.4	22 34.9	20 31.7	20 31.7	5 7.9	1 1.6	1 1.6	6 9.5	3 4.8
	30～39歳	40 80.0	15 30.0	15 30.0	12 24.0	6 12.0	1 2.0	5 10.0	2 4.0	6 12.0
	40～49歳	30 65.2	20 43.5	9 19.6	15 32.6	3 6.5	6 13.0	7 15.2	5 10.9	0 0.0
	50～59歳	23 38.3	37 61.7	8 13.3	17 28.3	16 26.7	3 5.0	6 10.0	12 20.0	2 3.3

5 出産・育児について

問 12 出産・育児について、お子さんは何人いますか。〔学生、無回答除く〕

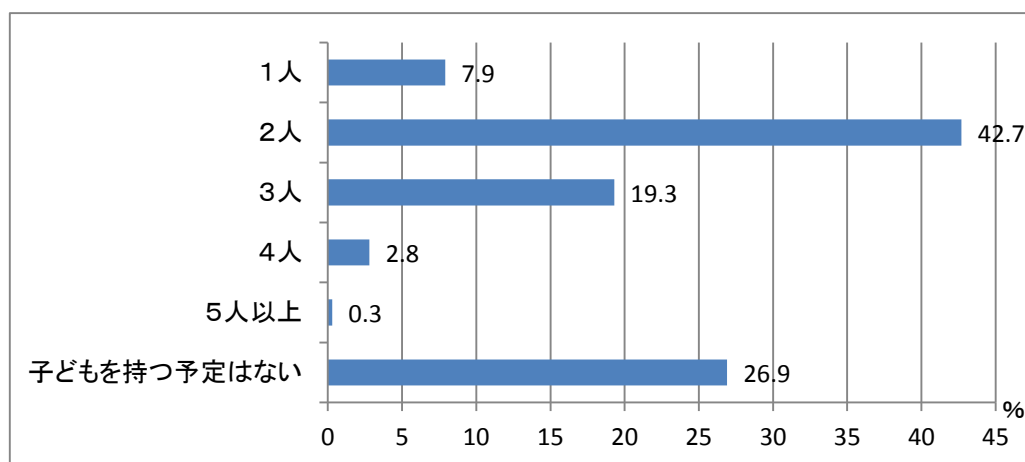


「子供はいない」が最も多く 39.8%、次いで「2人」が 25.3%、「1人」が 12.2%となっています。

性別にはついては特に違いはありませんが、年齢別については、20～29歳では「子供はいない」が約 7 割以上を占め、年齢層が上がるにつれその割合は低くなっています。

		1人	2人	3人	4人	5人以上	子供なし
全体		40	82	33	7	0	107
		14.9	30.5	12.3	2.6	0.0	39.8
①性別	男	16	43	17	2	0	63
		11.3	30.5	12.1	1.4	0.0	44.7
	女	24	39	16	5	0	44
		18.8	30.5	12.5	3.9	0.0	34.4
②年齢	20～29歳	13	5	0	0	0	49
		19.4	7.5	0.0	0.0	0.0	73.1
	30～39歳	10	19	5	2	0	25
		16.4	31.1	8.2	3.3	0.0	41.0
	40～49歳	9	27	7	2	0	18
		14.3	42.9	11.1	3.2	0.0	28.6
	50～59歳	8	31	21	3	0	15
		10.3	39.7	26.9	3.8	0.0	19.2

問 13 何人のお子さんを持つ予定か。[無回答除く]

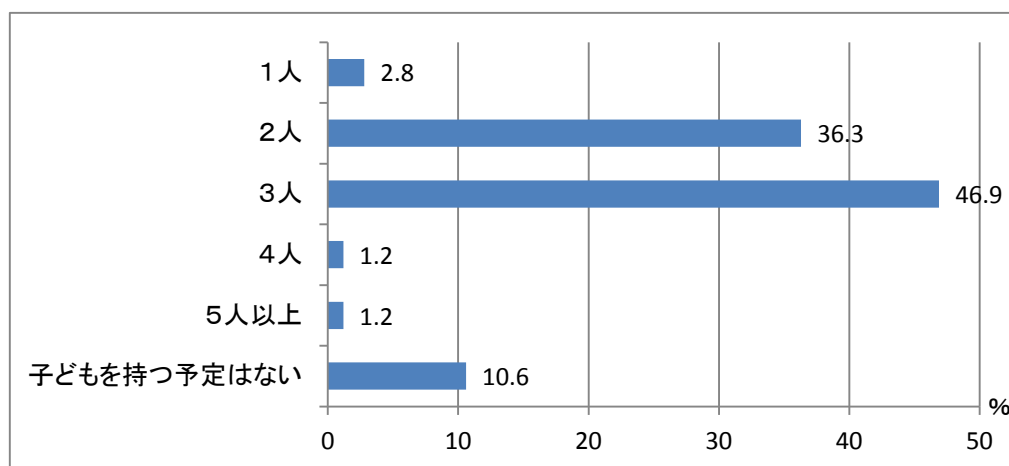


「2人」が42.7%と最も多く、次いで「子供をもつ予定はない」が26.9%、「3人」が19.3%となっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		1人	2人	3人	4人	5人以上	子供なし
全体		25	135	61	9	1	85
		7.9	42.7	19.3	2.8	0.3	26.9
①性別	男	14	73	33	4	0	35
		8.8	45.9	20.8	2.5	0.0	22.0
	女	11	62	28	5	1	50
		7.0	39.5	17.8	3.2	0.6	31.8
②年齢	19歳以下	2	30	10	2	0	13
		3.5	52.6	17.5	3.5	0.0	22.8
	20～29歳	4	31	17	2	0	13
		6.0	46.3	25.4	3.0	0.0	19.4
	30～39歳	7	29	10	2	0	12
		11.7	48.3	16.7	3.3	0.0	20.0
	40～49歳	8	26	8	1	1	18
		12.9	41.9	12.9	1.6	1.6	29.0
	50～59歳	4	19	15	2	0	29
		5.8	27.5	21.7	2.9	0.0	42.0

問 14 理想的な子どもの数は何人か。[無回答除く]

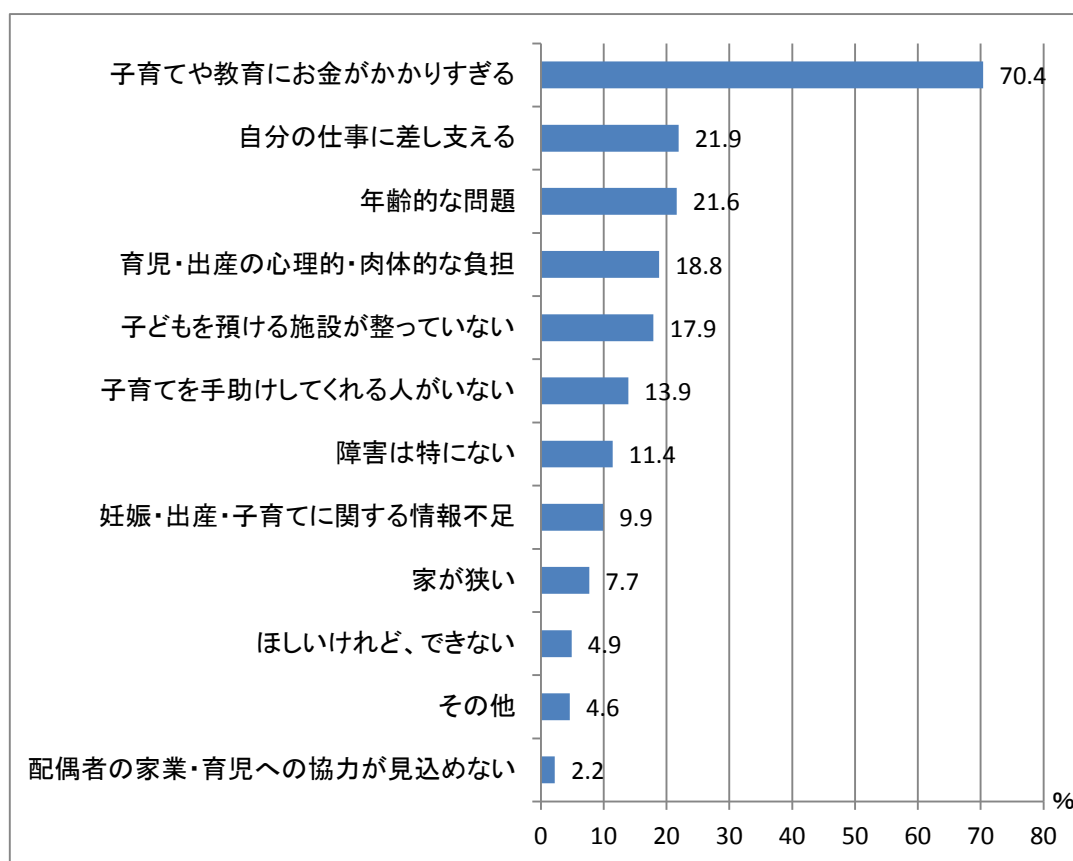


最も多いのが「3人」で46.9%、次いで「2人」が36.3%、「子供を持つ予定はない」が10.6%となっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられませんが、理想としての子供の数は実際より少なくなっています。

		1人	2人	3人	4人	5人以上	子供なし
全体		9	117	151	7	4	34
		2.8	36.3	46.9	2.2	1.2	10.6
①性別	男	4	64	72	3	2	17
		2.5	39.5	44.4	1.9	1.2	10.5
	女	5	53	79	4	2	17
		3.1	33.1	49.4	2.5	1.3	10.6
②年齢	19歳以下	1	34	17	1	0	4
		1.8	59.6	29.8	1.8	0.0	7.0
	20～29歳	2	26	30	2	1	7
		2.9	38.2	44.1	2.9	1.5	10.3
	30～39歳	3	21	30	2	0	7
		4.8	33.3	47.6	3.2	0.0	11.1
	40～49歳	2	17	37	0	1	6
		3.2	27.0	58.7	0.0	1.6	9.5
	50～59歳	1	19	36	2	2	10
		1.4	27.1	51.4	2.9	2.9	14.3

問 15 理想的な子どもの数を実現するために、障害となること（なりそうなこと）。[無回答除く、複数回答]



「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が70.4%と最も多く、次いで「自分の仕事に差し支える」が21.9%、「年齢的な問題」が21.6%となっています。

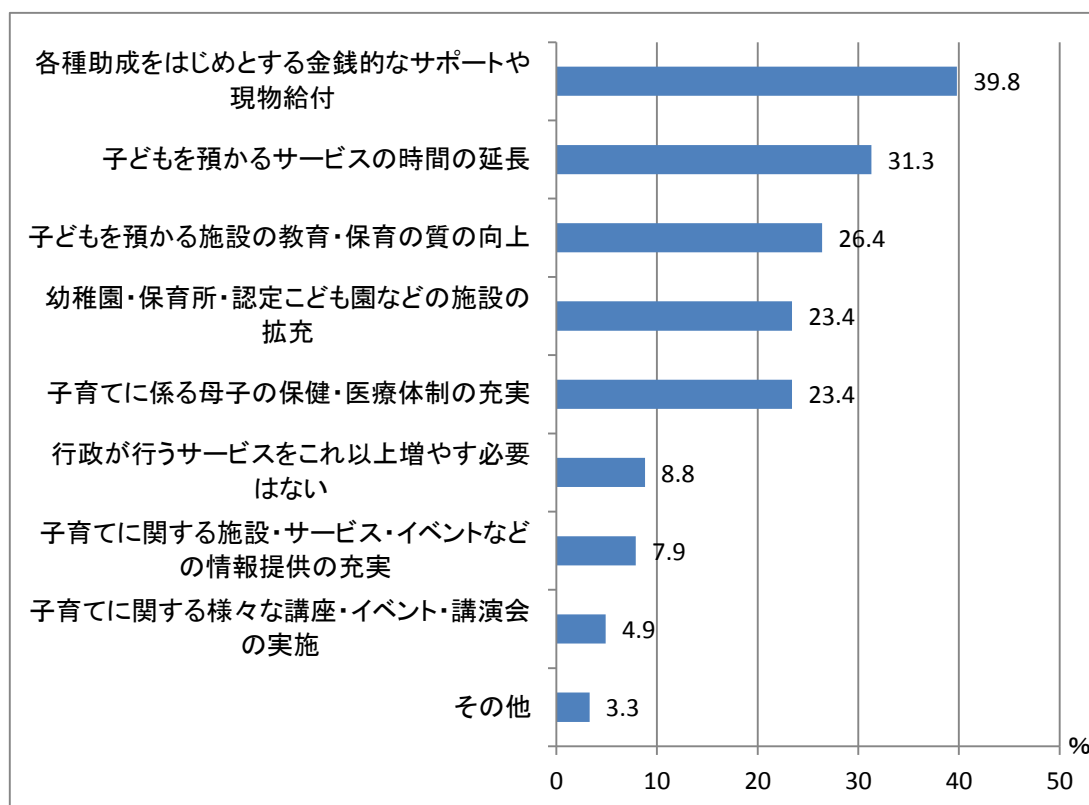
性別、年齢別ともに大きな違いはみられませんが、世代を通じて「子育てや教育にお金がかかりすぎる」への認識が強いことが表われています。

		子育てや教育にお金がかかりすぎる	家が狭い	自分の仕事に差し支える	子育てを手助けする人がいない	子どもを預ける施設が整っていない	妊娠・出産・子育てに関する情報不足
全体		228 70.4	25 7.7	71 21.9	45 13.9	58 17.9	32 9.9
①性別	男	118 70.7	15 9.0	26 15.6	25 15.0	30 18.0	16 9.6
	女	110 70.1	10 6.4	45 28.7	20 12.7	28 17.8	16 10.2
②年齢	19歳以下	38 67.9	3 5.4	18 32.1	6 10.7	8 14.3	13 23.2
	20～29歳	47 70.1	7 10.4	17 25.4	13 19.4	15 22.4	6 9.0
	30～39歳	47 74.6	5 7.9	13 20.6	7 11.1	6 9.5	4 6.3
	40～49歳	50 78.1	4 6.3	13 20.3	9 14.1	12 18.8	2 3.1
	50～59歳	45 61.6	6 8.2	9 12.3	10 13.7	17 23.3	7 9.6

上表の続き

		年齢的な問題	育児・出産の心理的・肉体的な負担	ほしいけれど、できない	配偶者の家業・育児への協力が見込めない	その他	障害は特 にない
全体		70 21.6	61 18.8	16 4.9	7 2.2	15 4.6	37 11.4
①性別	男	35 21.0	27 16.2	9 5.4	1 0.6	10 6.0	21 12.6
	女	35 22.3	34 21.7	7 4.5	6 3.8	5 3.2	16 10.2
②年齢	19歳以下	3 5.4	11 19.6	0 0.0	1 1.8	2 3.6	8 14.3
	20～29歳	4 6.0	17 25.4	2 3.0	1 1.5	2 3.0	9 13.4
	30～39歳	16 25.4	16 25.4	5 7.9	3 4.8	4 6.3	7 11.1
	40～49歳	28 43.8	7 10.9	3 4.7	0 0.0	1 1.6	5 7.8
	50～59歳	19 26.0	10 13.7	6 8.2	2 2.7	6 8.2	8 11.0

問 16 出産・育児に関するサービスとして、最も力を入れるべきだと思うのは何か。[無回答除く、複数回答]



「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が39.8%と最も多く、次いで「子どもを預かるサービスの時間の延長」が31.0%、「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」が26.4%となっています。

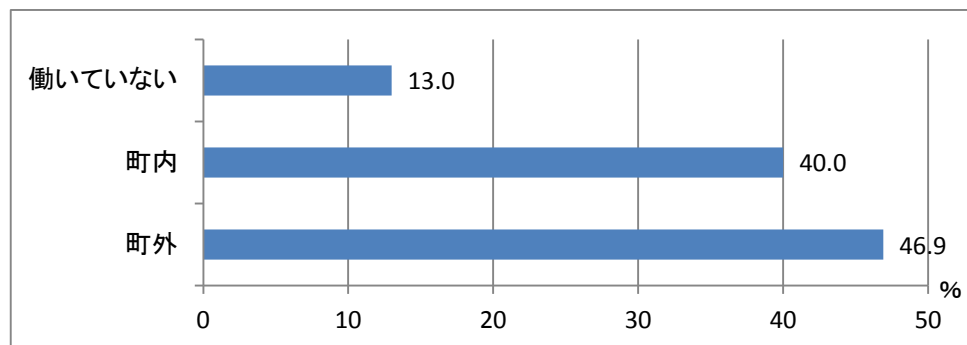
性別、年齢別については大きな違いはみられません。

地区別についても大きな違いはみられません。

		幼稚園・ 保育所・ 認定こど も園など の拡充	子どもを 預かる サービス の時間の 延長	子ども施 設の教 育・保育 の質の 向上	子育て施 設・サー ビス・イベ ント情報 提供	各種助成 など金銭 的なサ ポートや 現物給付	子育てに 係る母子 の保健・ 医療体制 の充実	子育てに 関する講 座・イベ ント・講演会 の実施	その他	行政サー ビスをこ れ以上増 やす必要 はない
全体		77	103	87	26	131	77	16	11	29
		23.4	31.3	26.4	7.9	39.8	23.4	4.9	3.3	8.8
①性別	男	37	50	47	14	73	38	6	5	18
		21.9	29.6	27.8	8.3	43.2	22.5	3.6	3.0	10.7
	女	40	53	40	12	58	39	10	6	11
		25.0	33.1	25.0	7.5	36.3	24.4	6.3	3.8	6.9
②年齢	19歳以下	14	18	18	4	16	13	8	2	2
		24.1	31.0	31.0	6.9	27.6	22.4	13.8	3.4	3.4
	20～29歳	11	20	19	12	32	20	1	2	4
		15.9	29.0	27.5	17.4	46.4	29.0	1.4	2.9	5.8
	30～39歳	12	15	18	1	36	21	4	2	4
		18.8	23.4	28.1	1.6	56.3	32.8	6.3	3.1	6.3
	40～49歳	18	26	15	3	27	8	2	1	5
		28.1	40.6	23.4	4.7	42.2	12.5	3.1	1.6	7.8
	50～59歳	21	23	17	6	20	15	1	4	14
		28.8	31.5	23.3	8.2	27.4	20.5	1.4	5.5	19.2
③地区	前川	24	41	36	9	46	19	6	4	10
		20.9	35.7	31.3	7.8	40.0	16.5	5.2	3.5	8.7
	今宿	11	17	7	5	17	12	3	1	2
		24.4	37.8	15.6	11.1	37.8	26.7	6.7	2.2	4.4
	小野	1	2	2	0	3	1	0	0	0
		20.0	40.0	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	川内	13	19	16	3	19	18	2	2	6
		23.2	33.9	28.6	5.4	33.9	32.1	3.6	3.6	10.7
	本砂金	2	0	3	2	7	5	0	1	0
		18.2	0.0	27.3	18.2	63.6	45.5	0.0	9.1	0.0
	支倉	7	6	11	3	15	13	1	0	7
		18.9	16.2	29.7	8.1	40.5	35.1	2.7	0.0	18.9
	支倉台	16	17	10	4	23	8	3	3	4
		29.6	31.5	18.5	7.4	42.6	14.8	5.6	5.6	7.4

6 働くことについて

問 17 現在、どこで働いているか。[学生、無回答除く]

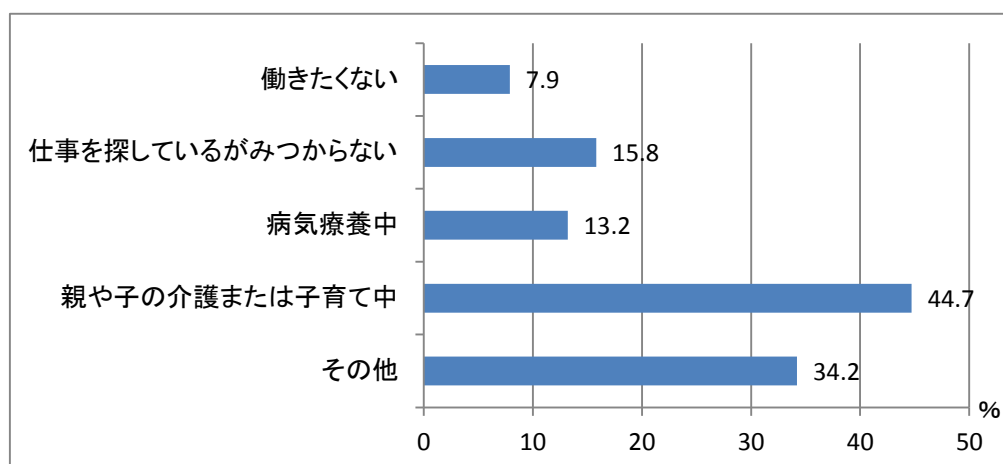


働く場所については、「町外」が46.7%で「町内」の40.2%を上回っています。性別については、男性が58.6%と「町外」が多く、女性は45.9%と「町内」が多くなっています。年齢別については、20～49歳で「町外」の割合が高く、50～59歳で「町内」が高くなっています。

地区別については「町内」を回答する比率が高いのは前川地区、今宿地区、河内地区で、「町外」は小野地区、本砂金地区、支倉地区、支倉台地区が高くなっています。

		働いていない	町 内	町 外
全体		38	117	137
		13.0	40.1	46.9
①性別	男	10	55	92
		6.4	35.0	58.6
	女	28	62	45
		20.7	45.9	33.3
②年齢	20～29歳	20	21	33
		27.0	28.4	44.6
	30～39歳	8	27	31
		12.1	40.9	47.0
	40～49歳	4	23	39
		6.1	34.8	59.1
	50～59歳	6	46	33
		7.1	54.1	38.8
③地区	前川	17	49	40
		16.0	46.2	37.7
	今宿	3	20	15
		7.9	52.6	39.5
	小野	0	1	3
		0.0	25.0	75.0
	川内	5	28	17
		10.0	56.0	34.0
	本砂金	3	1	7
		27.3	9.1	63.6
	支倉	3	8	21
		9.4	25.0	65.6
	支倉台	5	8	32
		11.1	17.8	71.1

問 17-1 働いていない理由は何か。(働いていない方限定) [学生、無回答除く、複数回答]

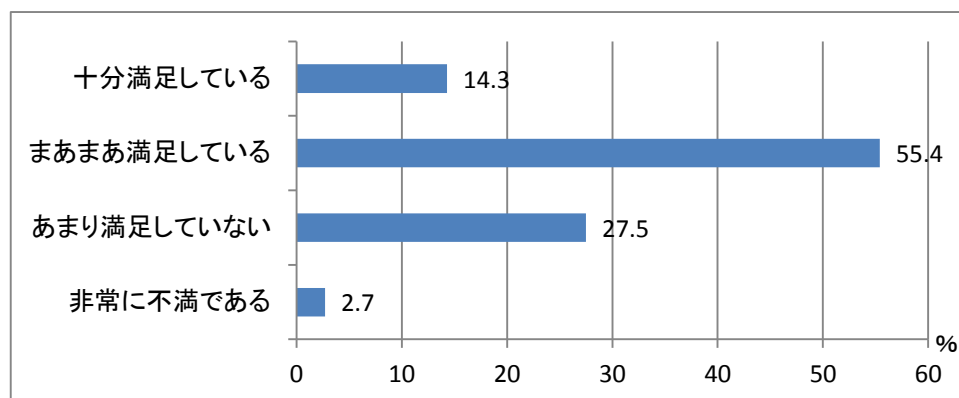


「働きたくない」が50.0%と最も多く、次いで「親や子の介護または子育て中」が20.7%、「その他」が15.9%となっています。

性別については、男性は「その他」が最も多く、その内容は「働く場所がない」事を上げる方が多くなっています。女性は「親や子の介護または子育て中」が42.1%となっています。年齢別については大きな違いはみられません。

		働きたくない	仕事を探しているがみつからない	病気療養中	親や子の介護または子育て中	その他
全体		3	6	5	17	13
		7.9	15.8	13.2	44.7	34.2
①性別	男	0	3	3	1	5
		0.0	30.0	30.0	10.0	50.0
	女	3	3	2	16	8
		10.7	10.7	7.1	57.1	28.6
②年齢	20～29歳	0	3	4	8	9
		0.0	10.7	14.3	28.6	32.1
	30～39歳	0	1	1	6	1
		0.0	12.5	12.5	75.0	12.5
	40～49歳	1	1	0	1	2
		25.0	25.0	0.0	25.0	50.0
	50～59歳	2	1	0	2	1
		33.3	16.7	0.0	33.3	16.7

問 17-2 仕事に満足しているか。(働いている方限定) [無回答除く]

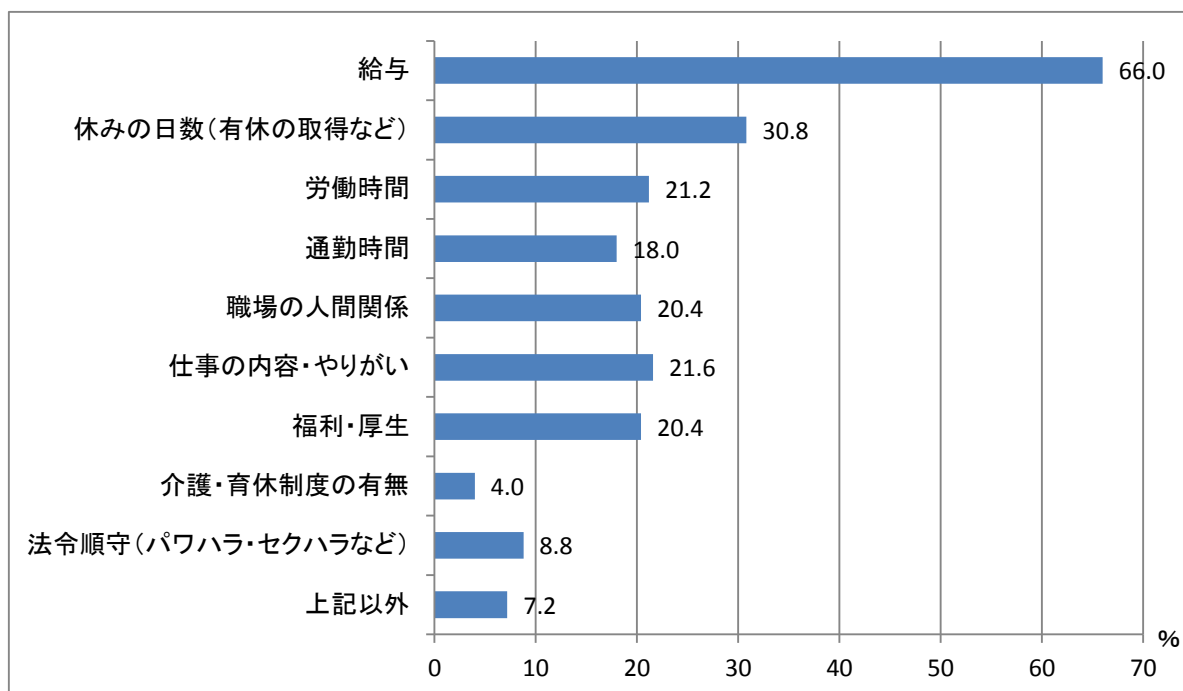


「まあまあ満足している」が55.4%と「十分満足している」の14.3%と合わせて69.7%がどちらかという満足しています。

性別、年齢別ともに大きな違いはみられませんが、若い年齢層ほど満足度は高い傾向にあります。

		十分満足して いる	まあまあ満足 している	あまり満足し ていない	非常に不満で ある
全体		37 14.3	143 55.4	71 27.5	7 2.7
①性別	男	17 11.3	87 58.0	42 28.0	4 2.7
		20 18.5	56 51.9	29 26.9	3 2.8
	女	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0
		7 13.0	30 55.6	16 29.6	1 1.9
②年齢	19歳以下	8 14.0	26 45.6	21 36.8	2 3.5
		11 17.7	39 62.9	11 17.7	1 1.6
	20～29歳	9 11.5	45 57.7	21 26.9	3 3.8
	30～39歳				
	40～49歳				
	50～59歳				

問 17-3 働いている環境で改善してほしい点は何か。(町内、町外を選択した方限定) [無回答除く、複数回答]

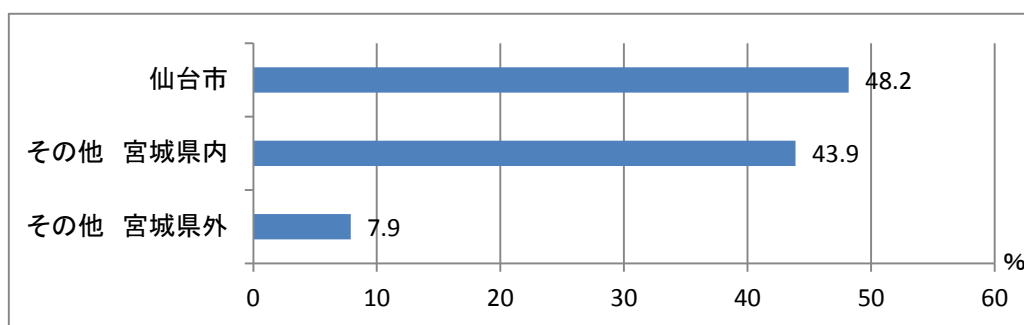


「給与」が66.0%と最も多く、次いで「休みの日数（有休の取得など）」が30.8%、「仕事の内容・やりがい」が21.6%となっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		給料	休みの 日数	労働 時間	通勤 時間	職場の 人間 関係	仕事の 内容・ やり がい	福利・ 厚生	介護・ 育休制 度の有 無	法令 順守	上記 以外
全体		165 66.0	77 30.8	53 21.2	45 18.0	51 20.4	54 21.6	51 20.4	10 4.0	22 8.8	18 7.2
①性別	男	102 70.8	46 31.9	39 27.1	31 21.5	23 16.0	33 22.9	29 20.1	2 1.4	9 6.3	12 8.3
	女	63 59.4	31 29.2	14 13.2	14 13.2	28 26.4	21 19.8	22 20.8	8 7.5	13 12.3	6 5.7
②年齢	19歳以下	4 57.1	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	2 28.6
	20～29歳	30 58.8	23 45.1	17 33.3	5 9.8	12 23.5	11 21.6	10 19.6	3 5.9	2 3.9	1 2.0
	30～39歳	41 71.9	15 26.3	12 21.1	11 19.3	12 21.1	14 24.6	10 17.5	3 5.3	6 10.5	3 5.3
	40～49歳	32 57.1	18 32.1	10 17.9	11 19.6	8 14.3	9 16.1	15 26.8	1 1.8	6 10.7	5 8.9
	50～59歳	57 73.1	21 26.9	14 17.9	16 20.5	18 23.1	20 25.6	15 19.2	3 3.8	7 9.0	7 9.0

問 17-4 どこで働いているのか。(町外を選択した方限定) [無回答除く]

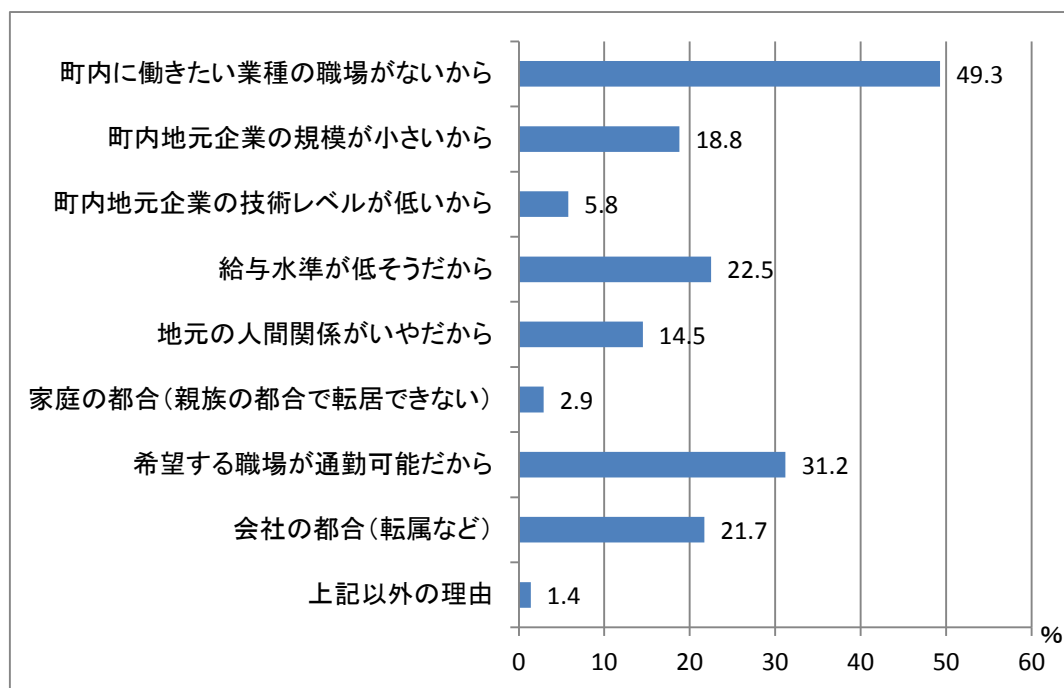


「仙台市」の48.2%と「その他宮城県内」の43.9%を合わせて9割を超える方が宮城県内で働いています。性別については大きな違いはみられません。

年齢別については、19歳以下及び30～39歳で「その他宮城県内」が特に比率が高くなっています。

		仙台市	その他宮城県内	その他宮城県外
全体		67 48.2	61 43.9	11 7.9
①性別	男	42 45.7	41 44.6	9 9.8
	女	25 53.2	20 42.6	2 4.3
②年齢	19歳以下	2 40.0	3 60.0	0 0.0
	20～29歳	17 53.1	12 37.5	3 9.4
	30～39歳	13 43.3	16 53.3	1 3.3
	40～49歳	19 50.0	17 44.7	2 5.3
	50～59歳	16 48.5	12 36.4	5 15.2

問 17-5 町外で働いている理由は何か。(町外を選択した方限定) [無回答除く、複数回答]

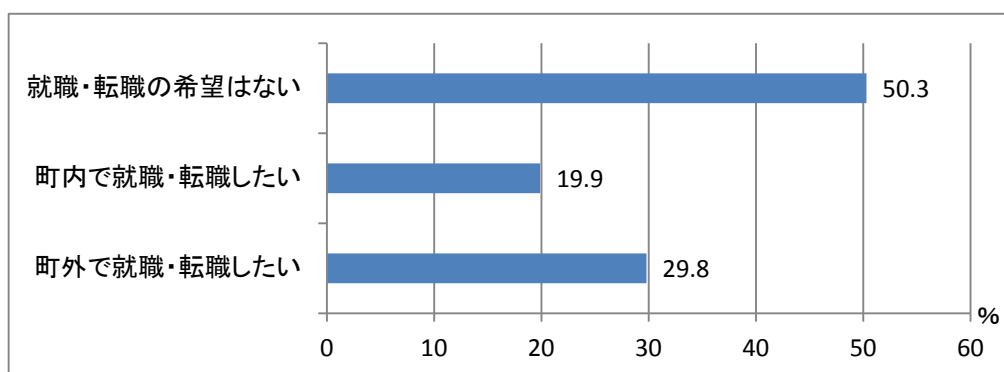


「町内に働きたい業種の職場がないから」が49.3%と最も多く、次いで「希望する職場が通勤可能だから」が31.2%、「給与水準が低そうだから」が22.5%となっています。

性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		町内に働きたい職場がない	町内地元企業の規模が小さい	町内企業の技術レベルが低い	給与水準が低そう	地元の人間関係がイヤ	家庭の都合	希望する職場が通勤可能	会社の都合(転属など)	上記以外の理由
全体		68	26	8	31	20	4	43	30	19
		49.3	18.8	5.8	22.5	14.5	2.9	31.2	21.7	13.8
①性別	男	43	23	6	26	4	1	22	25	14
		47.3	25.3	6.6	28.6	4.4	1.1	24.2	27.5	15.4
	女	25	3	2	5	16	3	21	5	5
		53.2	6.4	4.3	10.6	34.0	6.4	44.7	10.6	10.6
②年齢	19歳以下	1	0	0	0	0	0	1	1	2
		20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0
	20～29歳	22	8	3	10	6	0	7	5	2
		66.7	24.2	9.1	30.3	18.2	0.0	21.2	15.2	6.1
	30～39歳	14	6	1	7	5	1	8	8	5
		46.7	20.0	3.3	23.3	16.7	3.3	26.7	26.7	16.7
	40～49歳	17	6	2	6	5	1	15	7	4
		45.9	16.2	5.4	16.2	13.5	2.7	40.5	18.9	10.8
	50～59歳	14	6	2	8	4	2	12	9	5
		43.8	18.8	6.3	25.0	12.5	6.3	37.5	28.1	15.6

問 18 今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はあるか。[無回答除く]

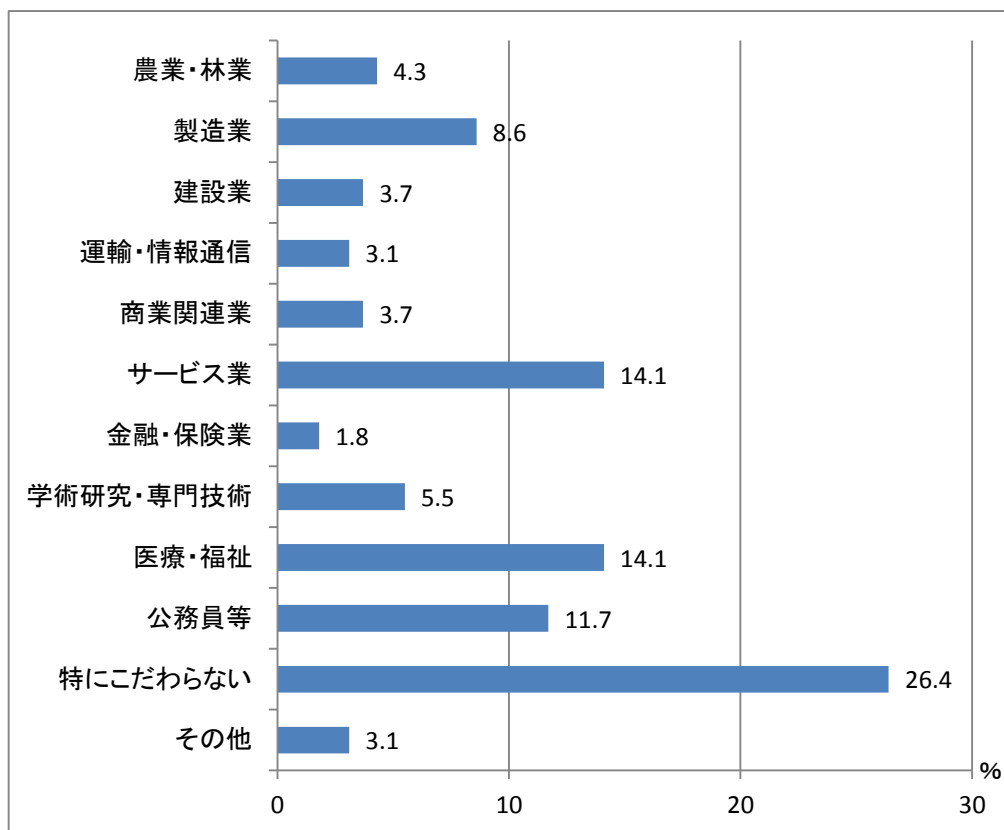


ほぼ半数の50.3%が「就職・転職の希望はない」となっています。一方、「町外で就職・転職したい」の29.8%と「町内で就職・転職したい」の19.9%を合わせて49.7%が就職を希望しています。

性別については大きな違いはみられません。年齢別については、若い年齢層で「町外で就職・転職したい」を回答する比率が高くなっています。

		就職・転職の希望はない	町内で就職・転職したい	町外で就職・転職したい
全体		167 50.3	66 19.9	99 29.8
①性別	男	92 53.5	35 20.3	45 26.2
		75 46.9	31 19.4	54 33.8
	女	8 16.0	8 16.0	34 68.0
		24 34.3	15 21.4	31 44.3
②年齢	19歳以下	34 51.5	14 21.2	18 27.3
	20～29歳	42 68.9	9 14.8	10 16.4
	30～39歳	57 68.7	20 24.1	6 7.2
	40～49歳			
	50～59歳			
	60～69歳			

問 18-1 どの分野の仕事を希望するのか。(町内・町外で就職・転職を選択した方限定) [無回答除く]



「特にこだわらない」が 26.4%と最も多く、次いで「サービス業」「医療・福祉」が共に 14.1%となっています。

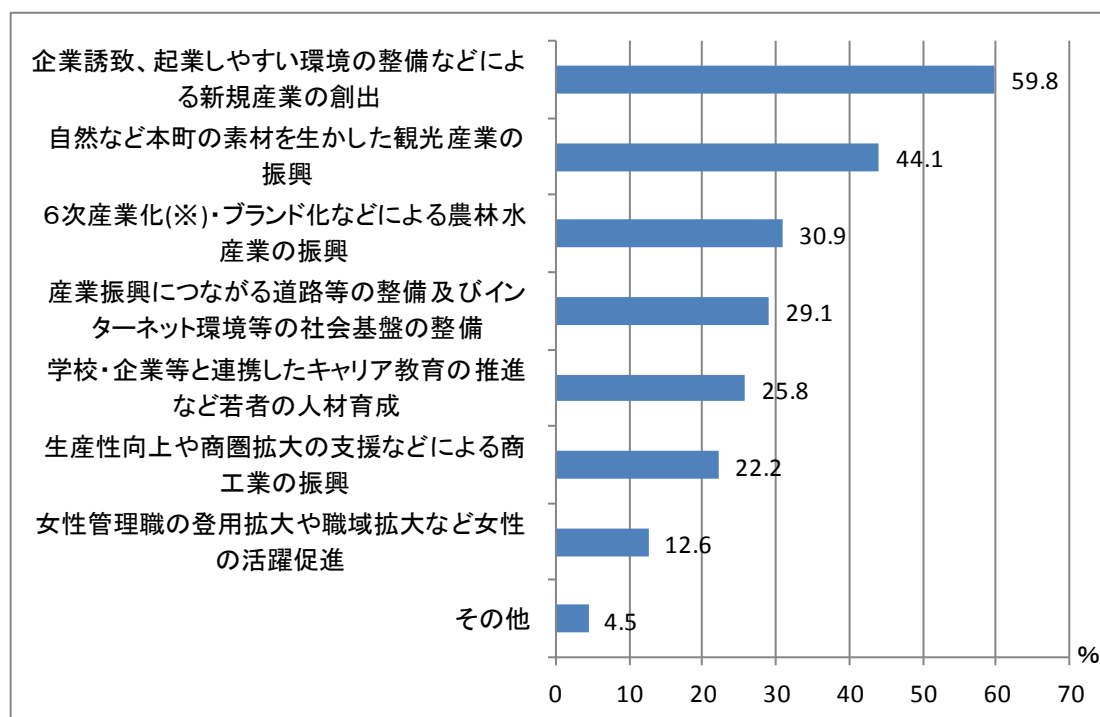
性別については男性が「特にこだわらない」28.8%、女性が「サービス業」24.1%を回答する比率が特に高くなっています。年齢別については、19歳以下が「公務員」26.3%を回答する比率が高くなっています。

		農業・ 林業	製造業	建設業	運輸・情 報通信	商業関 連業	サービス 業
全体		7	14	6	5	6	23
		4.3	8.6	3.7	3.1	3.7	14.1
①性別	男	7	7	5	5	3	3
		8.8	8.8	6.3	6.3	3.8	3.8
	女	0	7	1	0	3	20
		0.0	8.4	1.2	0.0	3.6	24.1
②年齢	19歳以下	1	3	0	1	1	7
		2.6	7.9	0.0	2.6	2.6	18.4
	20～29歳	2	3	3	3	2	9
		4.3	6.5	6.5	6.5	4.3	19.6
	30～39歳	0	4	1	0	3	4
		0.0	12.5	3.1	0.0	9.4	12.5
	40～49歳	1	1	0	0	0	3
		5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	15.8
	50～59歳	3	3	2	1	0	0
		10.7	10.7	7.1	3.6	0.0	0.0

上表の続き

		金融・ 保険業	学術研 究・専門 技術	医療・ 福祉	公務員 等	特にこだ わらない	その他
全体		3	9	23	19	43	5
		1.8	5.5	14.1	11.7	26.4	3.1
①性別	男	2	8	5	10	23	2
		2.5	10.0	6.3	12.5	28.8	2.5
	女	1	1	18	9	20	3
		1.2	1.2	21.7	10.8	24.1	3.6
②年齢	19歳以下	0	5	3	10	5	2
		0.0	13.2	7.9	26.3	13.2	5.3
	20～29歳	0	1	5	6	12	0
		0.0	2.2	10.9	13.0	26.1	0.0
	30～39歳	0	1	9	2	6	2
		0.0	3.1	28.1	6.3	18.8	6.3
	40～49歳	3	1	3	1	6	0
		15.8	5.3	15.8	5.3	31.6	0.0
	50～59歳	0	1	3	0	14	1
		0.0	3.6	10.7	0.0	50.0	3.6

問 19 地域経済の活性化に向けて力を入れるべき取組みは何か。[無回答除く、複数回答]



「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が59.8%と最も多く、次いで「自然など本町の素材を生かした観光産業の振興」が44.1%となっています。

性別については、「女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進」が男性に比べて女性

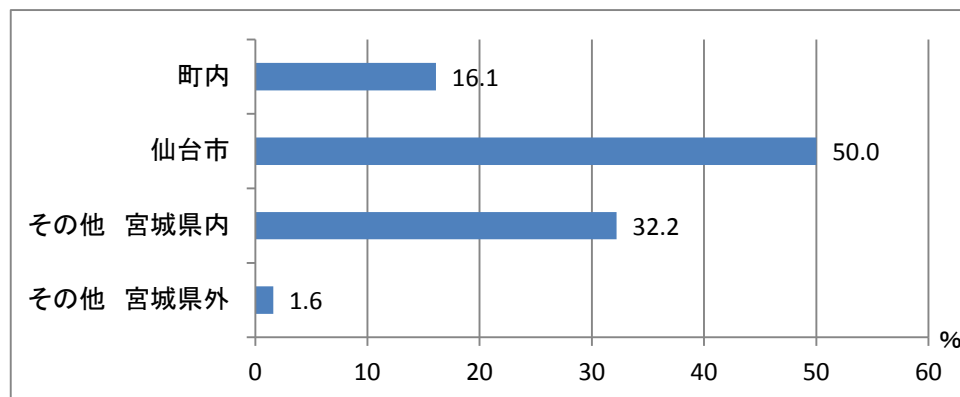
性の割合が高くなっています。年齢別については、19歳以下では「学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成」が他の年齢層に比べて高くなっています。

地区別については大きな違いはみられません。

		企業誘致、起業環境の整備など新規産業の創出	生産性向上や商圏拡大の支援等商工業の振興	6次産業化・ブランド化など農林水産業の振興	女性管理職の登用や職域拡大など女性の活躍促進	自然など町の素材を生かした観光産業の振興	キャリア教育の推進など若者の人材育成	道路及びインターネット環境等の社会基盤整備	その他
全体		199 59.8	74 22.2	103 30.9	42 12.6	147 44.1	86 25.8	97 29.1	15 4.5
①性別	男	121 68.4	50 28.2	58 32.8	18 10.2	76 42.9	36 20.3	59 33.3	9 5.1
		78 50.0	24 15.4	45 28.8	24 15.4	71 45.5	50 32.1	38 24.4	6 3.8
	女	17 34.7	7 14.3	11 22.4	7 14.3	18 36.7	17 34.7	12 24.5	2 4.1
		39 54.9	14 19.7	16 22.5	13 18.3	36 50.7	18 25.4	15 21.1	3 4.2
②年齢	19歳以下	43 65.2	16 24.2	24 36.4	10 15.2	23 34.8	20 30.3	25 37.9	1 1.5
		45 73.8	18 29.5	18 29.5	6 9.8	29 47.5	14 23.0	17 27.9	1 1.6
	20～29歳	55 64.0	19 22.1	34 39.5	6 7.0	41 47.7	17 19.8	28 32.6	8 9.3
		75 63.0	27 22.7	44 37.0	21 17.6	50 42.0	27 22.7	32 26.9	4 3.4
	30～39歳	23 54.8	10 23.8	15 35.7	4 9.5	21 50.0	9 21.4	9 21.4	2 4.8
		5 83.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	40～49歳	35 60.3	13 22.4	14 24.1	6 10.3	25 43.1	14 24.1	15 25.9	4 6.9
		7 58.3	3 25.0	4 33.3	0 0.0	4 33.3	5 41.7	5 41.7	1 8.3
③地区	前川	20 54.1	6 16.2	11 29.7	4 10.8	18 48.6	14 37.8	12 32.4	1 2.7
		31 57.4	12 22.2	12 22.2	5 9.3	24 44.4	15 27.8	21 38.9	3 5.6
	今宿	75 63.0	27 22.7	44 37.0	21 17.6	50 42.0	27 22.7	32 26.9	4 3.4
		23 54.8	10 23.8	15 35.7	4 9.5	21 50.0	9 21.4	9 21.4	2 4.8
	小野	5 83.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0
		35 60.3	13 22.4	14 24.1	6 10.3	25 43.1	14 24.1	15 25.9	4 6.9
	川内	7 58.3	3 25.0	4 33.3	0 0.0	4 33.3	5 41.7	5 41.7	1 8.3
		20 54.1	6 16.2	11 29.7	4 10.8	18 48.6	14 37.8	12 32.4	1 2.7
	本砂金	31 57.4	12 22.2	12 22.2	5 9.3	24 44.4	15 27.8	21 38.9	3 5.6
		75 63.0	27 22.7	44 37.0	21 17.6	50 42.0	27 22.7	32 26.9	4 3.4
	支倉	23 54.8	10 23.8	15 35.7	4 9.5	21 50.0	9 21.4	9 21.4	2 4.8
		5 83.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	支倉台	35 60.3	13 22.4	14 24.1	6 10.3	25 43.1	14 24.1	15 25.9	4 6.9
		7 58.3	3 25.0	4 33.3	0 0.0	4 33.3	5 41.7	5 41.7	1 8.3

7 学生の将来について

問 20 現在、どこに通学しているのか。(学生限定) [無回答除く]

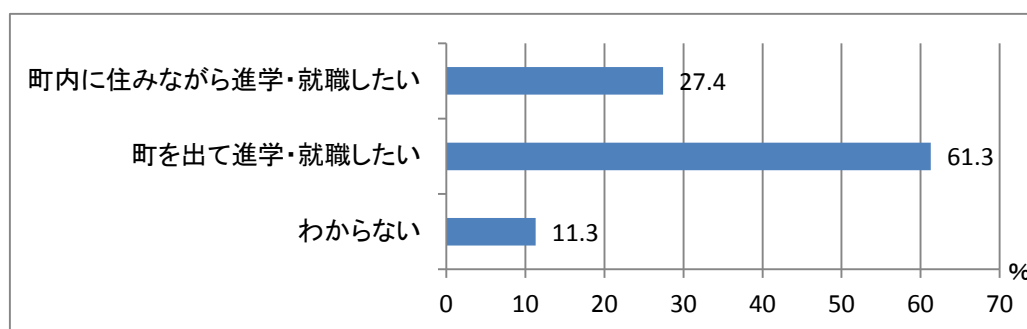


「仙台市」が50.0%と最も多く、「その他宮城県内」の32.2%と合わせて約8割を超える方が宮城県に通学しています。

性別、年齢別については大きな違いはみられませんが、専門学校や大学に通学する方の回答となっていると考えられます。

		町内	仙台市	その他宮城県内	その他宮城県外
全体		10	31	20	1
		16.1	50.0	32.3	1.6
①性別	男	4	14	8	1
		14.8	51.9	29.6	3.7
	女	6	17	12	0
		17.1	48.6	34.3	0.0
②年齢	19歳以下	10	26	18	1
		18.2	47.3	32.7	1.8
	20～29歳	0	5	2	0
		0.0	71.4	28.6	0.0

問 21 今後、進学や就職する際に川崎町に残るか川崎町を出るか。(学生限定) [無回答除く]

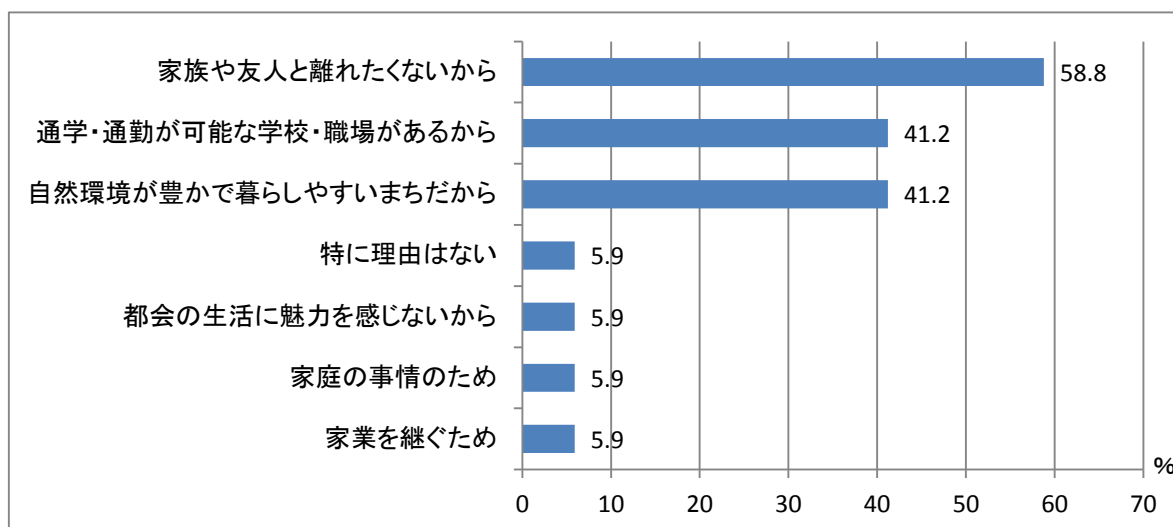


「町を出て進学・就職したい」が61.3%と「町内に住みながら進学・就職したい」の27.4%を大きく上回っています。

性別、年齢別ともに大きな違いはみられません。

		町内に住みながら進学・就職したい	町を出て進学・就職したい	わからない
全体		17	38	7
		27.4	61.3	11.3
①性別	男	7	17	3
		25.9	63.0	11.1
	女	10	21	4
		28.6	60.0	11.4
②年齢	19歳以下	15	33	7
		27.3	60.0	12.7
	20～29歳	2	5	0
		28.6	71.4	0.0

問 21-1 将来、町内に住みながら進学・就職したい理由は何か。(町内に住みながら進学・就職したい方限定) [無回答除く、複数回答]

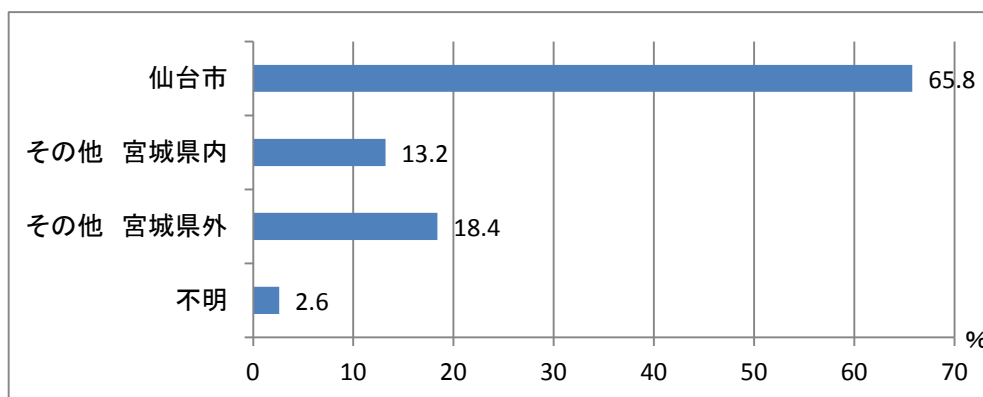


「家族や友人と離れたくないから」が58.8%と最も多く、次いで「通学・通勤が可能な学校
職場があるから」及び「自然環境が豊かで暮らしやすいまちだから」がそれぞれ41.2%とな
っています。

性別については、男性が「通学・通勤が可能な学校職場があるから」29.4%を回答する比
率
が高いのに対して、女性は「家族や友人と離れたくないから」が47.1%と特に高くなってい
ます。年齢別については大きな違いはありません。

		通学・通 勤が可 能な学 校・職場 がある	家業を 継ぐため	家庭の 事情の ため	家族や 友人と離 れたく ない	自然環 境が豊 かで暮 らしや すい まち	都会の 生活に 魅力を 感じない	特に 理由 は ない
全体		7 41.2	1 5.9	1 5.9	10 58.8	7 41.2	1 5.9	1 5.9
①性別	男	5 71.4	1 14.3	0 0.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0
	女	2 20.0	0 0.0	1 10.0	7 70.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0
②年齢	19歳以下	7 46.7	1 6.7	1 6.7	8 53.3	6 40.0	1 6.7	1 6.7
	20～29歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

問 21-2 将来、どこへ出る予定（出たい）か。（町を出て進学・就職したい方限定）[無回答除く]



「仙台市」が65.8%と最も多く、次いで「その他宮城県外」が18.4%、「その他宮城県内」が13.2%となっています。

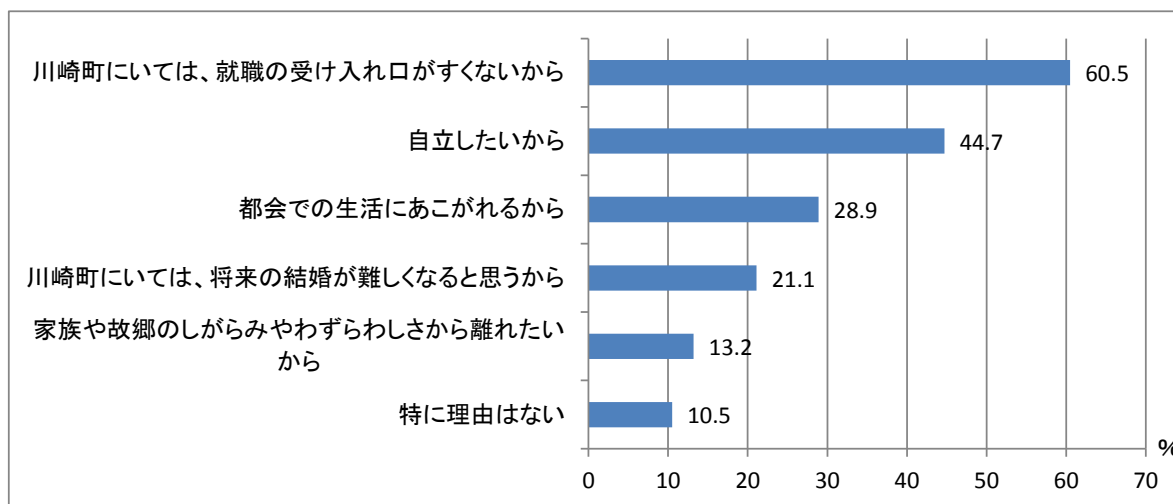
性別、年齢別については大きな違いはみられません。

		仙台市	その他宮城県内	その他宮城県外
全体		25	5	7
		67.6	13.5	18.9
①性別	男	12	1	3
		75.0	6.3	18.8
	女	13	4	4
		61.9	19.0	19.0
②年齢	19歳以下	22	4	6
		68.8	12.5	18.8
	20～29歳	3	1	1
		60.0	20.0	20.0

問 21-3 将来、川崎町を出る（出たい）理由は何か。（町を出て進学・就職したい方限定）

[無

回答除く、複数回答]



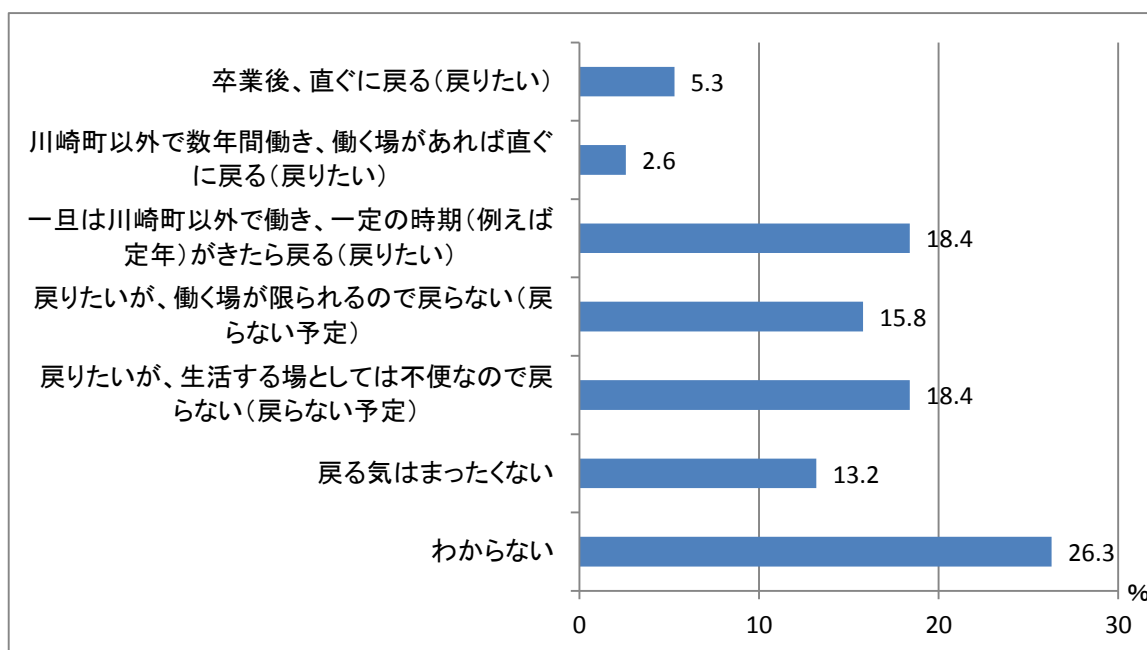
「川崎町にいては、就職の受け入れ口がすくないから」が60.5%と最も多く、次いで「自立

したいから」が44.7%、「都会での生活にあこがれるから」が28.9%となっています。

性別、年齢別ともに大きな違いはみられません。

		就職の受け入れ口がすくない	家族や故郷のしがらみやわずらわしさ	都会での生活にあこがれる	将来の結婚が難しくなると思う	自立したい	特に理由はない
全体		23 60.5	5 13.2	11 28.9	8 21.1	17 44.7	4 10.5
①性別	男	12 70.6	2 11.8	4 23.5	6 35.3	8 47.1	1 5.9
	女	11 52.4	3 14.3	7 33.3	2 9.5	9 42.9	3 14.3
②年齢	19歳以下	20 60.6	3 9.1	9 27.3	6 18.2	13 39.4	4 12.1
	20～29歳	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0

問 21-4 将来、川崎町を出て進学・就職後、川崎町に戻って暮らしたいと思うか。（町を出て進学・就職したい方限定）〔無回答除く〕



「わからない」が26.3%と最も多く、次いで「一旦は川崎町以外で働き、一定の時期（例えば定年）がきたら戻る（戻りたい）」及び「戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない（戻らない予定）」がそれぞれ18.4%となっています。

性別については、男性が「一旦は川崎町以外で働き、一定の時期（例えば定年）がきたら戻る（戻りたい）」の回答する比率が高いのに対して、女性は「わからない」が28.6%と最も高くなっています。年齢別には大きな違いはみられません。

		卒業後、 直ぐに戻 る(戻りた い)	川崎町以 外で働い た後、働く 場があれば 戻る	一旦は川 崎町以外 で働き、時 期がきた ら戻る	戻りたい が、働く場 が少ない ので戻ら ない	戻りたい が、生活 が不便な ので戻ら ない	戻る気は まったく ない	わからない
全体		2 5.3	1 2.6	7 18.4	6 15.8	7 18.4	5 13.2	10 26.3
①性別	男	1 5.9	1 5.9	6 35.3	1 5.9	2 11.8	2 11.8	4 23.5
		1 4.8	0 0.0	1 4.8	5 23.8	5 23.8	3 14.3	6 28.6
	女	1 4.8	0 0.0	1 4.8	5 23.8	5 23.8	3 14.3	6 28.6
		1 4.8	0 0.0	1 4.8	5 23.8	5 23.8	3 14.3	6 28.6
②年齢	19歳以下	2 6.1	1 3.0	4 12.1	5 15.2	6 18.2	5 15.2	10 30.3
		2 6.1	1 3.0	4 12.1	5 15.2	6 18.2	5 15.2	10 30.3
	20～29歳	0 0.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
		0 0.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

8 自由意見

問 22 その他、川崎町のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。

寄せられた自由意見を、居住地区別に意見を集約しました。集約された意見を以下のような10グループに分けることにより、居住地区別の傾向を考察します。

- 生活環境の整備、まちづくりについて
- 少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて
- 医療・福祉・子育て支援について
- 交通環境の整備について
- 教育環境の整備について
- 産業振興について
- 就労環境の整備、企業誘致などについて
- 地域間交流、観光PR、情報発信について
- 行政全般について
- その他

◇地区別自由意見全体集計

【①前川地区】

集約項目	意見数	比率(%)
生活環境の整備、まちづくりについて	15	20.8
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	2	2.8
医療・福祉・子育て支援について	5	6.9
交通環境の整備について	14	19.4
教育環境の整備について	3	4.2

産業振興について	7	9.7
就労環境の整備、企業誘致などについて	11	15.3
地域間交流、観光PR、情報発信について	6	8.3
行政全般について	7	9.7
その他	2	2.8

【②今宿地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
生活環境の整備、まちづくりについて	7	19.4
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	1	2.8
医療・福祉・子育て支援について	3	8.3
交通環境の整備について	6	16.7
教育環境の整備について	2	5.6
産業振興について	2	5.6
就労環境の整備、企業誘致などについて	7	19.4
地域間交流、観光PR、情報発信について	2	5.6
行政全般について	5	13.9
その他	1	2.8

【③小野地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
生活環境の整備、まちづくりについて	0	0.0
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	2	33.3
医療・福祉・子育て支援について	2	33.3
交通環境の整備について	1	16.7
教育環境の整備について	0	0.0
産業振興について	1	16.7
就労環境の整備、企業誘致などについて	0	0.0
地域間交流、観光PR、情報発信について	0	0.0
行政全般について	0	0.0
その他	0	0.0

【④川内地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
生活環境の整備、まちづくりについて	6	14.0
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	2	4.7
医療・福祉・子育て支援について	6	14.0
交通環境の整備について	5	11.6
教育環境の整備について	3	7.0
産業振興について	4	9.3
就労環境の整備、企業誘致などについて	5	11.6
地域間交流、観光PR、情報発信について	4	9.3
行政全般について	5	11.6
その他	3	7.0

【⑤本砂金地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
------	-----	--------

生活環境の整備、まちづくりについて	2	16.7
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	1	8.3
医療・福祉・子育て支援について	1	8.3
交通環境の整備について	2	16.7
教育環境の整備について	1	8.3
産業振興について	1	8.3
就労環境の整備、企業誘致などについて	2	16.7
地域間交流、観光PR、情報発信について	0	0.0
行政全般について	1	8.3
その他	1	8.3

【⑥支倉地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
生活環境の整備、まちづくりについて	4	14.3
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	5	17.9
医療・福祉・子育て支援について	2	7.1
交通環境の整備について	3	10.7
教育環境の整備について	1	3.6
産業振興について	3	10.7
就労環境の整備、企業誘致などについて	2	7.1
地域間交流、観光PR、情報発信について	4	14.3
行政全般について	4	14.3
その他	0	0.0

【⑦支倉台地区】

集約項目	意見数	比率 (%)
生活環境の整備、まちづくりについて	8	17.0
少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて	3	6.4
医療・福祉・子育て支援について	2	4.3
交通環境の整備について	12	25.5
教育環境の整備について	1	2.1
産業振興について	4	8.5
就労環境の整備、企業誘致などについて	6	12.8
地域間交流、観光PR、情報発信について	5	10.6
行政全般について	6	12.8
その他	0	0.0

【①前川地区】

●生活環境の整備、まちづくりについて

- ・自然豊かでとてもいい場所だが外灯が少ないところや、デパート的なものがない。食品だけ売
るような建物ではなく、衣服や食品などたくさんのもがあるデパートを建てるべきだと思
う。
- ・とりあえず今のままの川崎でいいんじゃない？だって、人は優しいし、自然いっぱいだし都会
にはないものがいっぱいある。私は川崎が好き!! しいていうならスタバとかカフェをつくって
ほしいです。
- ・他の町からの出入りが少なく、職場も川崎の人しかいないような、とざされたイメージが強い
です。交通の便もあまり良くないので他の町で働くには通勤時間もかかるが外に出たいと思っ
てしまいます。同居の人しかほとんど外から川崎に来る人がいないので、これから少なくなる
のは目に見えているし、企業誘致、アパートなどの充実、商業施設、買い物の便利性を上げな
いと人が出ていくばかりだと思います。将来、子どもたちに頼らなくて安心して老いていける
町になってほしいです。
- ・何十年も続けているスポーツ少年団にも目を向けてほしい。少ない子どもたちで練習をさせて
頑張ってる指導者や父兄の立場も考えてほしい。B & G杯等、予算や人件費がかかると何十年
続けた大会もやめると言われたが、支えてきた指導者、楽しみに練習してきた子どもの身にも
なってほしい。こういったアンケート代、切手代、婚活イベントにかかる予算はあるんです
か？野球やサッカーばかりではなく、もっとスポーツを選べる町にしてほしい。必ず町長に伝
えて下さい。
- ・川崎町は自然が豊かで住みやすい町です。自然を売りにアピールする方法を取り組んでいけた
らいいと思います。
- ・交通の便が悪い、買い物する所が少ない、お茶する所もない。何にもない町の将来は大変な気
がします。
- ・図書館みたいなみんながくつろげる場所があるといいなと思います。
- ・一番は交通が不便である点、正直、若者にとって魅力が無い、荒吐ロックフェスなどをもっと
活用すべき、高齢者が多く地域包括ケアシステムが成立しない町での計画の透明化を図り、ど
のくらい施策があったのか見るべき。耕作放棄地での農業、バイオマスでの活用、空き地、空
き家を利用・リフォームなどを行う。農業実習者への支援、企業誘致を考える町の赤字をもっ
と深刻に据え、専門家に協力を仰ぐなどすべき。
- ・町内の街灯をLEDにして、点灯数の増加。裏丁2号線の整備に感動したので、次は川内の
滝見橋を整備していただきたいです。
- ・川崎町の山林を長期にいかしてほしい。
- ・早く住宅を建ててほしい。
- ・町の資源を積極的に活用し、起業や移住を考えている若い人たちが移住し、新しい仕事を作っ
ていてくれるといいと思う。空家を整備し、若い人たちが借りやすく、買いやすく助成を。
子どもたちが仙台等へ進学出来るよう交通費の助成を。川崎の特産品は何？道の駅を作るよ

り、商品開発や人材育成が先。鳥獣害により田畑が作れない。田舎暮らしできる環境を！

- 川崎町は自然があふれる住み良い町なので高齢になっても楽に暮らせる一人でも生活していけるような、そして安心して暮らせるような決め細いサービスが充実した政策を行っていただきたいと思います。
- 大型商業施設は絶対いない。
- これからも、緑豊かな町にしてほしい。自然が良い、カモシカとかにも住みやすい街にもらいたい。仙台など都会からでも気楽にこられる良い町にして欲しい。

● 少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて

- 要介護の認定がなくてもショートスティなど認定予備軍などの高齢者にやさしいまちづくり、相談しやすい環境、周知などお願いしたいです。
- 町内で働く場があり町内外から老人がくるようにする。子育てや教育といった子どもが育てやすいようにするなど

● 医療・福祉・子育て支援について

- 医療費助成をなくしてほしい。(少し熱がでたりとかした時に、すぐに病院に行ったりするコンビニ受診等、増えると大変。現物給付とかにすればいいと思う。(入学時に体操服とか、シューズとか。いろいろ金がかかる。)
- もう少し安心して通える病院として国保病院を改善して欲しい。医師の確保が必要だと強く思う。
- 将来的には、足こしが弱く、グランドゴルフ等が出来なくても、温水プール等が出来れば赤ちゃんから老人まで利用出来、健康、体力づくりが出来き、病気にかからないで医療費が削減できると思う。
- バリアフリーを発展させるべきである。
- 子育てをしながら共働きをしています。こども園の保育時間が 18：30 までで、児童教室の迎えが 18 時までで仕事を終えてから迎えとなると児童教室の迎えに間に合わないため、仕事を辞めざるを得ません。児童教室の時間の変更を考えて頂きたいです。夫婦で悩んでいます。

● 交通環境の整備について

- 交通を良くしてほしいです。学校帰りなども本数が少なくて困ります。増やせば、気軽に町外の人が来ると思います。
- もっとバスの本数を増やしてほしい。 電車を作ってほしい。交通事情をもっとよくしてほしい。
- 交通不便をなんとかしてほしい。(バスの本数を増やすとか)
- 電車を通してほしい。
- 交通機関が路線バスのみ、本数も少ない仕方ない事かもしれませんが、マイカー通勤不可の職場が多く(仙台市内)就職活動に影響がありました。
- 子育て世代にはあまり環境が整っていないので、交通手段の拡充は必要だと思います。実際に今、子どもを仙台に住ませて、学校へ通わせて二重生活になっているので…。家族で仙台に引っ越すことも以前検討した為強く思います。

- 川崎町は交通の利便性が悪いので、通勤、通学がとても大変なので交通事情を改善していただきたいと思っております。
- 行動 286 号の整備を!!
- どちら方面に行くにも現実的にマイカーですのでガソリン代が大変です。町内では高くて入れられない時もあります。交通機関(バス)も少ないので何とかならないのでしょうか。
- 交通便利の改善が必要になります。川崎町に住んでいると車が必ず必要になります。学生の時はすごい交通に関しては不便でした。これも人口減少の一つだと思いますので、改善すれば人口減少をおさえられていくと思います。
- 車社会で道路の整備はもちろんです。仙台市のように電車などが通っていればちがうと思う。
- 仙台市とのアクセス(286 号の道路整備による)の向上は最も重要であり、町の活性化は全てそこから始まるように思います。追い越し車線を取り込んだ、安全で快適な道路を希望いたします。
- 将来やりたいことがあるので、それは川崎町ではできないのでしかも、通うには不便なので川崎町に住むということは考えられません。
- まちづくりをする上で一番重要なのが交通の便であると思う。交通の便が良い場所には住宅が増え、人口が増え、住宅や人口が増えれば必然と商業(店、スーパー等)も活性化し便利性が良くなると思う。やはり、一番は交通の便、道路の整備である。空き地、空家も多くなり整備が必要な場所が多くある。土地が沢山あるのに、それを利用活用できないのは問題あると思う。アンケート実施したからには、一步ずつ良い方向へ変化してほしい。

●教育環境の整備について

- 私が気になる事は、川崎小学校のトイレです。私が通っていた時と何も変わらず、和式・光があたらなく暗い、ものすごく臭い、そして、狭いです。子どもにトイレについて聞いてみると臭くて行きたくない。たまにトイレを我慢しているという事です。大人も臭くて長く入ってられません。環境を良くしてほしいです。学校の東坂(先生たちが車を止めている坂)のBiGから行った時のミラーがどこに向いているかわからない。先生たちは気づかないのでしょうか?せっかく付いているのだから直してほしいです。外でゴミを燃やしている人がいて、洗濯が干しづらい。臭い。どーにかしてほしい。
- 教育関係のことにお金をけちらないでほしい。学校が統合されて、小学校のなくなった地区は寂しくなっている。歩いて学校へ行けることが一番ではないか?(小学生にとって) チョコエもんはほどほどにしませんか?
- 前川西部に住んでおります。長女を前川小学校に通わせていますが、人数が少なすぎる為役員が毎年まわってくる状態です。複数かけもつ事も有ります。学校行事、こども園の行事も数多く有りますので、仕事しながら大変な思いをしております。生活の為に働いていますが、仕事優先にすると周りの目もあり、大変辛いです。川崎小学校と一緒にいる事はないのでしょうか。是非、是非、ご検討いただきたく思います。あと、児童教室の件ですが、設置していただきとても助かっていますが、「〇〇さんだけなんですよー。もうちょっと早くお迎え来られませんか?」と言われます。お盆は、ほとんど皆、早く帰る人が多く、私も休みじゃなかったため、祖母にお願いするのも苦労しました。夏休み前に個人のスケジュールを提出し、夕方まで(17:30)記入し、お願いできると思っていました。児童教室の先生方は教室が閉まれば、早

く帰れるのでしょうか？早く帰りたいが為の発言の様に思えるのですが。

●産業振興について

- ・農業をもうすこし考えて下さい。作物を作る時、指導する方がほしい。団地化をし、作物と農業がきちんと出来るようにしてほしい。ライスセンターを作る事によって、小さい農業している人もたすかと思う。川崎の特産物が、そばなら、きちんと団地化してほしい。年老の知恵があるので、知恵を利用し、生きがいを持たせるような形として下さい。障害者とかかわる仕事をしていますが、もう少し私に知恵、知識を下さい。
- ・今のところ山元町と交流があるので山元で作っているいちごを川崎で売って、川崎でとれる米やそばを山元で売ってもらうようなことをしたり、大きく農家しているのが個人などの、その人たちが会社をたちあげるようなことや、中古の農材具をかっても助成してくれるような事をしてもらいたい。
- ・川崎町には魅力的なものがないため、あえて言えば、農業、酪農しかないのでその農業をどういかに考えたほうがいいのかと思う。例えば、町ぐるみでブランド化し、営業ルートを構築し、農家の収入環境を作ってやる。それと、大手企業を誘致するためあまってる土地を買収し、提供し税収を増加させることにより、より安定した町づくりができると思う。ただ、考えるだけではなく行動し実行しなければ前に進みません。
- ・この先求められるのは農産物は、安全な無農薬が主流になる。今からでも無農薬に取り組むべき、農薬と肥料が今の環境悪化の原因であることは明らか。持続性のある農薬は無農薬以外はありえない。ダム湖から北川古関までを管理釣り場として、通年利用すれば良い。せっかく良い川があって魚がみえなければなんの魅力もない。逆に魚(きえれいな大きな魚)がいつも居る川には、遠く関東かでも釣り人は訪れる。まずはキャッチ&リリース区間の設定が必要。
- ・道の駅…川崎町の特産品(名物→町にしかない・野菜など)などをPR又その他食品売り場など設置(宮城の名物企業)
- ・プロジェクトチーム(トップには町外から専門家みたいな人材を)宮城の名物…ずんだもち、牛タン、萩の月、ささかまぼこ、もなかなど。名物…川崎ホルモン(かっちゃん)手羽(佐々木肉店)そばカステラ(小山本店)
- ・町内の観光地にも力を入れ、改善に努めてほしい。

●就労環境の整備、企業誘致などについて

- ・仕事をする場所が少ないので企業誘致を頑張してほしいです。
- ・川崎町は自然豊かで大好きですが、山に囲まれていて閉鎖的に感じる所もあり、町外の方も少なからず、そう思っている方が多いです。「道の駅」など観光振興も必要だと思いますが、町外の方も働ける場所が必要だと思います。
- ・安定した職場があって安心して子育てしていける町にしてほしいです。
- ・働ける場所が限られて希望する職業に就く事が出来ない現状です。これでは川崎に住みたくとも住む事は不可能です。
- ・一番は、やはり雇用関係を充実させるべきだと思います。そうしないと若い人たちが次々と川崎町を出ていくことになると思いますので、雇用関係を充実させれば人口減少をおさえられると思います。
- ・働く所が少ない大衡村のような企業誘致は大事だと思う。

- 企業誘致をする為、インター回りの田、畑を整備（企業がきやすい→輸送効率コストを考えやすい状況に）※2〜3社誘致によって自然に人口が増になるのではないかと。
- 川崎町に大手起業の会社を建設して、人が集まる場所を作り、川崎町以外の人を集め、あとは住宅設備をしっかりと、川崎町は住みやすい町という事をわかってもらえるようにしたらいいと思う。
- 企業誘致、仙南は求人数が少ないので近隣町とも連携し、雇用の場を作してほしい。
- 期日が過ぎてしまいましたが、送らせていただきました。やはり職種が限られてしまうので、町内で働くのには限界があるように思います。
- 会社に勤めている人にタイムカードがあるのに、役場、病院には無いと聞きました。だから、遅刻、外出が自由なのでは？おかしいです。

●地域間交流、観光PR、情報発信について

- 荒吐やフリーダムなど野外フェスで人がたくさん集まるので、食のお店を増やしたり、アリーナのようなものを作ればたくさんのアーティストなども来て、たくさんの人たちが川崎を訪れるようになると思う。
- アラバキロックフェスなどのイベントなどを増やして観光客の方が来るようにしてほしいです。
- 川崎町を知っている人が少ない、遠いイメージがある。
- 私はロードバイクに乗るサイクリスト、ローディーの一人として、地元川崎町民としてサイクリイベントの開催を強く望みます。町外、市内のローディーからも川崎町は強く支持を得ています。1つ例を挙げれば青根温泉です。信号も少なく通行車両も市内より少ないため、サイクリング、練習にもってこいの場所ですし、川崎町を一周するようなサイクリイベントを開催してみてもいかがでしょうか？
- 川崎町のいい所を出す為、イベント等などたくさんやって欲しいと思う。
- せっかく荒吐などの大きな野外ライブイベントが増えてきたのに、町全体で盛り上がる等の便乗ピーアールが足りないのではないかと？まだまだ古い考えが強く、観光、イベントPR等なにをするにしても、何か「障害」が見える気がする。新旧がうまくかみ合っていない。片寄りがある気がする。

●行政全般について

- <アンケート記入者の保護者より意見があり記入します>川崎町に限らず、一般民間所得者の賞与など削られ消費税も上がり生活するのが大変な家庭は多いと思います。川崎町に限らず、公務員の賞与は民間の所得に比例すべきだと考えます。個人で役場を伺った際に、仕事のやり方が「人を待たせる」「待たせている」のマイペースで、仕事のやり方に問題がないか改善してほしいです。税務課で15分昼休み中でしたが、昼休みは嫌がらせてしまったのか、嫌な感じを覚えています。
- 県道や国道の整備はもちろんですが、震災以後、崖崩れ危険箇所になっている地域の対応がすすんでいません。町は積極的に県、国に支援を働きかけているのでしょうか？現町長は若年層に人気のイメージですが、政治の面ではどうなのでしょう？県との協力はできていますか？これからの町づくりは町の力だけでは進まない現状が多そうです。現町長には今後の4年間

期待するしかありませんので、宜しくお願いします。

- 問題への取り組みは、中・長期的な期間を必要とするので、目先の一時的な権利や収入のために計画や取り組みがコロコロ変更される事のないようにお願いします
- 組長、課長さんたちや町会議員の皆さんからの提案で動く町制でなく第三者も人たちを多く取り入れたメンバーで町のプロジェクトを進められる環境づくりが新しい町の形作りになり、日本でも有数の大都市と山間地の共存できる町の生きる道が開けるのではないかと思います。
「強い川崎町作りに進化しかありません！もっと広く日本を見るべきです。」
- 町民一人一人の意識改革。何もかもお膳立てばかりを望み、町は要望すれば全て受け入れるのか？現実的に実現する事を考え実行すべきと思う。できない事までできると町は言うてはいけない。町民はもっとできる事は自分で努力すべきだ。例えば子育て支援についても、いったいだれが親なのか？預けっぱなしで自分の子を自分で育てず他人を頼りすぎる。働く場を多くし、勤務時間を働く人の時間に合わせるなど、町は働く場を誘致すべきかと思う。しかし、人口の減少、少子化は深刻だと思う。
- より良い町作り、お願いします。
- 大胆さからの政策構築が無い、どれもロールモデル的発想からの当該地へのアジャストしている感が強く独自性や町民、弱者目線の発想と熱量に欠ける。

●その他

- 子育ても仕事も自分達の力だけではできない状況になってきたので、色々な人の力を借りていくことになると思っています。川崎町のはずれに住んでいるので、今後川崎町だけでなく蔵王町のお世話にもなります。そういった場合、どこに相談し手続きをしたらいいか、町の方も町の垣根を越えて支援や応援をして頂けると有難いと思っています。
- 町民一人一人が努力していかなければならないと思います。

【②今宿地区】

●生活環境の整備、まちづくりについて

- ・結婚し川崎町に住む様になり、20年以上経ちますが町全体が“変わってない”という印象を受けます。企業誘致、子育て支援もちろん大切ですが、道路の整備、うっそうとした自然環境をもう少し整え、せっかく他県からのアクセスが多い川崎町なのですから“おもてなし”を表現した環境整備にも力を入れ、“行ってみたい”“通ってみたい”“魅力ある町創りをしていく必要があるのではないのでしょうか…自然は沢山ありますが、手入れのされていない自然なお店も少なく、交通の便も少ない川崎町に子どもたちは魅力を感じていない様です。残念ながら…。親としても、子どもの将来を考えるとここにずっと居てほしいとは言えない環境です。
- ・廃校になった小学校の利用方法のひとつとして文化団体の拠点として誘致する。例えばあきう石神のほうねん座のような場。北海道美唄の美術館のような場。老人がひとりでも生き生きと暮らしていける町づくり。例えば、長野県秦阜しやすおかり村。→若者の働く場にもなる「自然豊かな場所に住み働く場は仙台。」というくらしを推奨する。川崎の人は若い人も60代以上も基本的に元気があるので、何とか生かしたい。スポーツを軸としていくとか。森のピザ工房があれば人気があるので、それに集まって何かできないものか？ピザ工房に来たお客はそのあと、遠刈田、村田道の駅などに流れるのか？まずはアンケートをとるとか。町長が町の宣伝をしても、町民がいっしょになって作っていかうとしなければ、内容のともなわないことになる。「若者、よそ者、バカ者」誰でもよいから本格的にやる人が欲しい。
- ・町民が皆仲良く協力し合い住みやすい町を作っていけたらいいなと思います。
- ・店を増やしてほしい。
- ・町営住宅を新しく作って、自立して生活したい人の生活を助けてほしい（県営住宅でもいい）賃貸住宅の入居者への助成。低所得者(ワーキングプア)対策、自立支援。現在の町営住宅が老朽化していて入居しづらいので、新築してほしい。
- ・町おこしとして是非、川崎町の歴史の偉人等使ってほしい。
- ・ショッピングモールとは言わないが、ゲームセンターやファミリーレストランが1つくらいは欲しい。

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて

- ・若い世代の交流の場を作してほしい。結婚して町外から移住しても同世代の人と知り合う、親しくなる機会がない。

●医療・福祉・子育て支援について

- ・子育て支援は、とても充実しているので、これからも維持してほしい。
- ・とても住みやすく感じています。しかし、現在の町長さんが町長になってからは、子育てもしやすく良いのですが、また町長が変わった時に子育て支援がなくなってしまうのかな？と不安はあります。もっと地域の行事に若者が参加できる環境があればと思う。今は中高年中心で若者が少なく、参加しづらい。
- ・町外で働いていても子育てしやすいよう、延長保育や病児保育に力を入れてほしい。

●交通環境の整備について

- 仙台まで通勤、通学がしやすいように安い料金の公共バスをつくってほしい。
- 電車は無理だと思うので、バスの本数を増やそうとして下さい。町民バスも本数を増やしていただけると助かります。土、日も3本くらいはあってもいいと思います。
- 車を持っていない者は、どうしても交通面で問題がでてくるので正直困っています。
- 川崎は良い意味でも悪い意味でも静かです。遊ぶ所、場所も限られていますし、大河原の友達と花火したいとなっても帰るバスも遅くても7:30と限られるので、できません。電車があったならいいと時々思います。駅があるとそれなりに繁盛しますし、どうですか？企業誘致に成功したら通勤方法としても便利になると思います。それに駅からバスなど出し、みちのく公園やセントメリースキー場などにいかるようになったら、川崎町の観光にも役立ち、一石二鳥ではありませんか！川崎の良い所…自然豊、空気、水がおいしい、悪い所…交通の便が悪い。遊ぶ所が比較的少ない。
- 交通の改善。
- 公共交通機関が充実していたらいいなと思います。

●教育環境の整備について

- 川崎高校を地元の中学生のために廃校にしないように努力すべきと思う。バス利用をするので本数を増やしてほしい。
- 川崎町民はもっと勉強すべきだと思う。

●産業振興について

- 農産物を売る場所、「道の駅」などがあれば作った野菜、花他にもいろいろな物を売れる場所があればいいのではないのでしょうか？生産者にも作る意欲がわいて、川崎町が活気づくのではないのでしょうか。
- 若い人達が川崎町で何かやってみたい、起業したい、と思えるような魅力があれば…みちのく公園にはたくさんの人が来てくれるので、その人たちが公園のついでに行ってみたくするような活気ある商店街になってほしい。また、新しい場所に新しい商店街を…

●就労環境の整備、企業誘致などについて

- 企業誘致とともに、現在川崎町にある企業もしっかりバックアップしていく必要があると思う仕事がないというが町内で常に求人をだしている所は結構あり、なかなかわかりづらい。川崎町のHPに載せる、役場に求人案内の場所をもっとわかりやすく作ってはどうか。また、町外からの就労者を呼び込むためにも何かあってもいいのではないか。家賃が高く、交通の便が悪いのでは働く所があっても川崎町に定住はしないのではないかと思う。
- 働ける場所がほしい。
- 働く場所を増やしてほしい。
- 働きたくても、企業も少なくしかたなく今働いている状態です。社員として働きたいのに、会社側が社員にしてくれず、労働時間は社員なみです。保険にも入れてもらえずやりがいのない会社です。若者も働きたくなる様な会社がふえると良いですネ！町長さん、がんばって下さい。応援しています。

- 地元で働く場所があるのが一番かと思います。ちなみに町営のコンビニとかはどうでしょうか？
- 新しい企業などの話を聞いたりしても、途中でなくなったりするのはどうしてでしょうか？最後までいかない！
- 町内で働ける場所を増やしてほしい。

●地域間交流、観光PR、情報発信について

- 他の地域からの観光に力を入れ、町をにぎやかに川崎町へ引っ越ししてくる人に対しても受け入れの姿勢を手厚くしてほしい。
- 町外からの人々をまねき、川崎町の良さが伝わるような合コンを開き、今後、育児などを支援していく事をアピールし、移住者や子どもを増やし、人口増へつなげていくのが良いと思う。

●行政全般について

- 福祉、子どものためばかりで、働きざかりの人たちに負担がかかり過ぎてないでしょうか。
- 住民税、介護保険料等が他の市町村に比べてかなり高過ぎるとされる。行政の努力が必要ではないか。我々住民のアンケートも必要だが、議員、行政職員が危機感を持っているようには見えないので、そちらのアンケート等を実施し、やる気を引き出してほしい。
- 水道料金が高過ぎるため若い夫婦など核家族の場合、普通に生活するのが大変だという声が聞こえてきます。住みやすい町にするためには光熱費をもっと安くすべきと思います。
- 移住してくる人に何年か住んだら、家・土地を無償提供する。
- 川崎町の魅力が何であるのかが、分かりにくい。

●その他

- このアンケートがほんとうにいかされますように！！

【③小野地区】

●生活環境の整備、まちづくりについて

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて

- ・とにかく人口を増やすことです。特に 30 代までの子育て世代が重要です。現在の川崎町は終の住処とするには最適ですが、(老人ホームや葬式場が多い)若者が新しく生活を始める場所としては全く魅力がありません。生まれ、育ち、学び、働き、結婚し、子どもを育て、家を建て、社会に貢献し、老い、そして死ぬ。このサイクルが川崎町はうまく回っていないように思います。つまり、定住するには不安な要素が多いのです。人口を増やすプロセスそのものが定住化を促す方法につながると 생각합니다。拙筆でしたが、ご参考下されば幸いです。
- ・若い世代をもっと呼び込めるような町にしたい。

●医療・福祉・子育て支援について

- ・最近、子育てがしやすくなってきたと思うが、子ども園など保育士の質の向上など課題は多いと思う。
- ・医療機関の充実(眼科、耳鼻科の導入)

●交通環境の整備について

- ・交通に便が悪すぎる。(バスの本数が少ない、運賃が高すぎる)

●教育環境の整備について

●産業振興について

- ・産業が少なく働く場が少ないと思う。

●就労環境の整備、企業誘致などについて

●地域間交流、観光PR、情報発信について

●行政全般について

【④川内地区】

●生活環境の整備、まちづくりについて

- 川崎町の中心地に駐車場（目立つ所）を作らないと外から来た人は立ち寄れないから、早急作って頂きたい。せっかく川崎町中心地に寄ってもおそば屋しかないので、何か魅力ある寄り所があったらいいと思います。
- 町外へ出ないと用を足せない事がとても不便に思います。もっと若い人たちが川崎で生活したいと思えるような環境をつくり、町を活性化してほしいです。
- 買い物が不便なので、ヨークベニマルかイオンができればわざわざ大河原や鉤取まで行かなくてすむので、町がにぎわうと思う。デパートやショッピングできることで町がにぎわい、人が集まると思う。
- 山間部の方に来ると田、畑が動物などに荒らされ何か対策をお願いします。
- 買い物が不便。（スーパーが遠い）
- バイパスにマクドナルド、ケンタッキーなどドライブスルーとかあるとよいのでは。

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて

- 若い人たちの就職の受け入れが増加すれば人口減少がなくなると思う。
- 子育て支援も大切ですが、老人対策も必要ではないかと思います。

●医療・福祉・子育て支援について

- 小山町長になってから、子育て支援など充実してきているように思います。私が出産した時は、すぐにオムツ券などがもらえとても助かりました。今年からは、オムツだけではなく育児する上で必要なものが買えるみたいなのでますます金銭面では助かると思います。子どもの医療費無料やオムツ券の配布など今の時代は子育てにお金のかかる時代なのでこのようなものがあると、川崎町で子育てしてみよう！もう一人子どもがいてもいいのではないかなど考えることができます。これからも継続してもらい、こども園などの施設も充実するところによって、親負担が軽減されていけば少子化なども減ってくるのではないかなと思います。こども園に入園していない子どもも、預かり保育やわんぱく広場などもあるのでとても助かっており、他者とも交流できるのでとてもありがたく利用できています。これからも、子育て支援にお力をいれてほしいです。
- 町民の為の病院なのに外科をなくした。外傷など他市町へ行く事になっている。高齢者が多い町でタクシーなど使用しないといけない(交通手段が限られているから)町民の為の病院ではなくなっている。子どもも小児科医がいなく、子育てには環境がよくない。
- 町に眼科、婦人科のある安心して住める明るい町づくりになってほしい。そして良い医師に恵まれた病院づくり。
- 医療施設や社会福祉の充実に力をいれたいです。
- 自分の子どもは自分が育てるべきで行政はこれ以上のサービスは不用税金が上がっても支払い出来ない町民も居ることを、覚えていて欲しい!!
- 医療では、眼科、皮膚科、産婦人科など病院があると良いと思います。

●交通環境の整備について

- ・電車を通らせてほしい。
- ・町内などの道路、通路の工事をしていますが、もう少し範囲を広げてまだ狭くて夜などにとっても暗いような所を意識して直してほしい。
- ・286号線を早急に安全に作ってほしい。(赤石のがけが危なすぎる)宮交バスがますます減ってしまいそうで心配です。
- ・交通の便が良くなってほしい。
- ・若者の意見としては、川崎町に鉄道を通していただければもっと町外への出入りがしやすくなり、若い人口が減少するのもしよくなると思います。難しい案だと思いますがよろしくお願いします。

●教育環境の整備について

- ・私立高校や私立大学等の誘致。
- ・義務教育が終わってからの支援もしてほしい。金銭面で進学が難しい家庭もあると思う。
- ・今どきの教師は面倒な事には目をそむけているような気がします。不登校生、いじめ等にもっと先生は目を向け、声をかけてほしいフリースクール等あれば良いのではないのでしょうか

●産業振興について

- ・観光客の増加に努力して欲しい。
- ・観光や商工業と同じ様に農林業にももっと力を入れていただきたい。
- ・企業誘致に成功していない状況で、町にお金をおとしていただける方法として、観光でお金をおとしていただく事が、一番良い方法ではないかと考えます。観光で活力もしくわ活性化させ、町を今以上に明るい町にしていけば、住みよい町となっていくのではないのでしょうか？まずは町の商店街を活性化させ、明るい町、活気ある町にかえていければと考えます。高齢化でできない店は、若い人たちに貸し出す事や、町はずれもコンビニを商店街の中にもってくるといった事で良いのではないのでしょうか。
- ・川崎町に電車、地下鉄など出来れば車に頼らず、商業、工業、農業も発達できるのではないかと。

●就労環境の整備、企業誘致などについて

- ・今、パートで働いていますが、この会社は雇用保険もなくもしも辞めた場合を考えると大変不安です。
- ・会社の誘致により若い人たちの流出を防ぎ人口の増加を町としてバックアップしてほしい。
- ・シルバー人材センターを設置して欲しい。働き手を探しています。
- ・町内は仕事が無(給料が安い)イメージがあるので、仕事があれば町内で働きたい。仕事があれば、若者も町外に出て働く必要もなくなるので企業をもっと充実させて下さい。
- ・地元での働く所がもっとあれば町外に出て行く人が減って町の活性化が計れるのではないかと思います。

●地域間交流、観光PR、情報発信について

- ・町内の商店に町外の客も引き込むような、何かイベントを考えて欲しい。町が静かすぎる。
- ・国定公園を利用した花火大会とイベントの合体。そして、川崎町の食材を他町から呼び込む。イベントを月単位にやる。まとまりのある協力性の強い人間関係を築くこと。
- ・チョコえもん等のゆるキャラのグッズを物流センター等に置いてほしい。
- ・川崎町をPRするにあたってチョコえもん＝川崎町というのがわかりにくい。もっとチョコえもんが川崎町キャラクターだと伝わる様にしないと意味がなく川崎町をアピールできない。きちんとアピールできれば観光で地域も多少は活性化できるのではないかな。

●行政全般について

- ・町民の声をもっと町政に届きやすいシステムが欲しい。町への要望はどこへ言えばいいのかわからない。
- ・人口の急激な自然増が望めない状況下であれば、社会増に大きく寄与できる政策から実行していくべきである。予算も限りがある中、農業振興もやる、子育て支援も、何々事業もと総花的な予算を組むことなく、「〇〇の町川崎」と看板になりうるところに重点的にお金も人員も投入してほしい。町長は給料及び交際費のカットにより捻出した財源であたかも中学卒業までの無料化などの政策を実行し、成果としている旨いろいろなところで書いているが、このようなまやかしではなく、正しい情報を町民に伝えて欲しい。(条例も $845 \text{ 千円} \times 35\% \times 12 \text{ ヶ月} = 3,549 \text{ 千円}$ 、これではできて1つの事業くらいでは?)。また、こういうアピールをしなくても良くなる素晴らしい政策展開を期待する。
- ・生活保護の手当ての支給の見直し(パチンコしている姿を目にするが…いいのか?) 子ども手当てが支給されているのであれば、保育料も一律にすべきではないか? 子ども手当ての支給があるので、給食費の滞納者は自動的に天引きすべきではないか? 真面目に働いて支払いしている人が高額の手払いで、働かず払はないのは不公平だと思う。
- ・日々の行政に深く感謝致します。一人一人の思い“どうにかしたい”の気持ちが実現的出来たら良いですね。
- ・川崎町は良くないし、今後期待はしていません。役場職員はほぼ天狗状態であり、ろくに仕事もできない人しかいない。川崎町の公務員なら誇りをもつ仕事をしてほしい。町長の派閥で何もかも左右しないでほしい。(平等)外灯少なすぎる。(笹谷、支倉)町会議員を減らして人件費削減。

●その他

- ・アンケート依頼の人数が1000人と、少なすぎると思います。それにより、偏った資料になってしまうのではないのでしょうか。また、アンケート回答者にQUOカードなど御礼をすべきだと考えます。
- ・何も分かりませんが生まれて来たからは、一日を大切に一生懸命生きる事ぐらいしか出来ません!!
- ・北原住宅人で町から助成金を受けながら小さな子どもを留守番させて、朝から夜遅くまでギャンブルをしているお宅があるのは事実です。私たちの税金です。本当に許せないです。どうぞ、勤務外になると思いますが、夜に訪問してみて下さい。子どもだけでカップラーメンで夕食をとっているご家庭があることを。

【⑤本砂金地区】

●生活環境の整備、まちづくりについて

- ・色々と生活が不便。
- ・町営住宅を新しくしてほしい。

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくりについて

- ・高齢者のために薬局を近くに移動してほしい。

●医療・福祉・子育て支援について

- ・子育てしながらでも働きやすくてできる町にしてほしい。

●交通環境の整備について

- ・町の道路を整備してほしい。
- ・本砂金行きのバスを増やしてほしい。

●教育環境の整備について

- ・企業の誘致とともに、大学や専門学校の誘致を考えてはどうでしょうか。学生たちが集まれば衣食住に関わる人たちも必要になり、おのずと学生以外の人口も増えていくことになります。そのためにも、286号線の整備は不可欠です。町外から通ってくることも考えるからです。その学生さんたちが川崎町を好きになってくれたら、たとえ職場は町外でも川崎に住居をかまえてくれるかもしれない。若い人たちの交流も盛んになる。年月のかかることですが、御一行下さればと思います。

●産業振興について

- ・農業している家庭にももっと支援が必要。米作りも割りが合わない。このままでは田んぼを荒らす事にもなって川崎町が今度は動物の住みかになってしまう可能性がある。支援の方よろしくお願いします。川崎町の人口が増えますように。

●就労環境の整備、企業誘致などについて

- ・川崎町での職場をもっと増やしてほしい。今の時代主婦共働きじゃないと生活が困難になる。
- ・障害のある人をもっと働ける社会にしてほしい。

●地域間交流、観光PR、情報発信について

●行政全般について

- ・心の奥にある欲求や不満を出しあえる場をつくり、色々に意見を町づくりに生かせるようなシステムがほしい。ネット利用の常時意見受け付け、討論会とともに時々実際にお酒を飲みながら交流するイベントも必要。人間関係の希薄化が人口減少をもたらす一つの要因と考えるので。各地域、地区の公民館に町職員を週一日くらい出張させると楽しくなるのでは？

●その他

- ・本砂金の方も町長が視察して欲しい。

【⑥支倉地区】

●生活環境の整備、まちづくり

- ・スーパー等(食料品等)を増やしてほしい。
- ・碁石に住んでいますが、町内には買い物する所がなく何をするにも車がなければ何もできない状態です。今はまだ、車を運転し、川崎町内にまで買い物、病院なども行けますが、将来年老いた時に不便になることまちがいないです。
- ・町、独自の町づくりは行われているところではありますがそこにも限度がありますので、まずは町との隣接域(仙台市)の開発に期待したいと思います。お隣とはいえ、開発に関わる町としてのサポート的な事、模索してみても…？(既に生出地区あたりは始まっているようですが…)又、そこに向けての準備もしっかり行っていかなければならないかと思っています。(国道整備や、直通バスなど交通アクセス、町内隣接域の宅地開発促進等、)すべては仙台西部域の開発促進に何か町として戦略的な事を期待したいと考えますが…。
- ・仙台に住んでいたが、川崎町は交通、買い物の利便性がない。仕事帰りに用事をすまして帰宅する。川崎町にもヨータウンのような複合施設などあれば老若男女問わず行く事が出来るが「ここに行こう!」と言う買い物するところがない。

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくり

- ・同居する子どももいないので、交通手段なども充実させていただきたいです。
- ・人口減少による行政サービスの今後の在り方を、中長期にわたり町民に示していく必要がある。これに伴い、行政機関の可能な限りの民間への業務委託へ移行。病院、子ども園、役場窓口業務、給食など民間活用を利用しサービスの向上と経費の抑制を進める。
- ・今まででの町では、いずれ若い人や子どもの人口は少なくなると思う。高齢者よりまず子ども、若者に目をむけるべき！正直、住んでかぎりでは生活は不便を感じます。
- ・少子高齢化社会なのでもっと働き口を増やし、若者が住みやすい町づくりをめざしてください。
- ・自然環境、近所の人達との人間関係は素晴らしいと思います。人口減少、高齢化において、交通の不便性も影響していると思います。交通の利便性を高めていけば、若い人たちが住みやすく、人口も増えていくと思いますが、それに伴う自然環境の悪化、農産物への影響についても考えていかなければならないと思います。

●医療・福祉・子育て支援

- ・総合病院の充実化。(特に小児科、夜間、休日の充実など)子育て支援、教育充実、小学校幼稚園など給食費を町が負担。
- ・乳幼児応援助成金が月一万円ずつ一年間支給されるのはとてもありがたいなあとと思いますが、子どもが三歳まで支給対象だともっといいなと思います。一歳まで支給は他の自治体でもよくあるけど、三歳というのはあまりないのでは。三歳まで支給とかあったら子育て世代にはけっこう魅力ではないでしょうか。子どもが遊ぶ場所、公園が少ないのでは。子育て支援センター等に行けない人にとっては家にこもるしかない。町外から来た人にとってはなかなか元々いる人達と付き合うのが難しい。こども園や富岡幼稚園の入園を仙台市や村田町や大河原町等に住

む子どももOKにしたらどうでしょう。特に仙台市などは待機児童とかで入園できずに仕事に復帰できない親もいると思うので。安心して子どもを預けられる街ということで、川崎町に移住する人もいるのでは。

●交通環境の整備

- ・交通の便が悪い。
- ・支倉地区は交通の面で車を持っていない学生はとても不便。宮城交通のバスと町民バスが連携していない。
- ・道路の整備、得に冬場の雪道 川崎町から仙台市の道路渋滞、通行不能な時がある。

●教育環境の整備

- ・こども園幼稚園では、保育がメインではなく学校への準備期間としてしっかり教育してほしい。

●産業振興

- ・荒れた畑の活用や若い人等農家の活性化。
- ・登山道の整備(山形県、福島県の登山道は、マイナーな山でも、キレイに整備されています。)県内外からの登山者誘致。
- ・公園の近くにある物産センターを、もっと活性化した方がよいと思う。地元の方も観光の客ももっと入りやすいようにしてもらえると、今後利用しようと思う。(外見からでは一部の方が利用している、寂れた場所に見えてくる。)

●就労環境の整備、企業誘致

- ・閉校した校舎の活用(町カフェやワークショップにより地域住民を雇用してやる。
- ・企業誘致雇用拡大。

●地域間交流、観光PR、情報発信

- ・売店(地域の特産品等)川崎町で新しい特産品を打ち出す。
- ・イベント等で一時的に活性化しても、発展は難しい。バスや電車も通す等をすべき、仙台市のとまり町という利点を生かすべき。
- ・野外コンサートは若者がたくさん集まるので、そこでもっと川崎町をアピールをして、良い町だと思ってもらう。野外コンサート等の道路の混雑などの対応に力をいれる。または、地元の人への何らかの配慮。
- ・社会人ソフト、花火大会、盆踊りなどは良いと思いますが、野外や県外から来る人の大半は公園くらいですよ？上記の3つは町起こしではよいと思いますが、公園のような『町の外』から来てくれる人たちに目を向けた方がよいかと思います。野外や県外の人々が川崎町に足を運んでもらって初めて町起こしが成り立つのではと思ってます。

●行政全般について

- ・人口流出はどの地域でも課題ですが、やはり生活においての利便性と企業誘致そして、青根温

泉の再生が主となるのではないか。給料が全く上がらずとられる部分ばかり、田舎暮らしの良さをアピール、移住者を増やすため金銭面でのサポートをする。独身者に対しての出会いの場の手助けを増やす。286号線の拡充の実現と支倉台の住宅増加や町内へのアクセスの良さにつなげ移住者を増やすなど。議員さんらが町民の代表者として、口だけでなく実践で実現すべきではないでしょうか。机の上だけなら誰にでも出来る仕事、しかし、町民が納得できる現場での仕事を積極的にやりとげて頂くことが望ましい。

- 町外に仕事にでていますが、役場での書類関係等、土、日でも取れるよう時間外の勤務もしてほしい。
- 川崎町も他町村と変わらず住みやすい町だと思います。問題は、現在の年齢構成上やもえないかもしれませんが、社会補償負担等が多く、生活を圧迫している。町民が満足できることをすべて追い求めてしまうと、負担だけ(金銭面)が多くなってしまう。行政として過剰なサービスをすることだけでなく、町民への教育や理解を求めることも必要ではないでしょうか？ 静かな環境の元で、近所づき合いができることが何よりも他にないものだと思います。
- 今、川崎町で生活している人たちを守る政策も大切だと思いますが、20年、30年後この町を守っていく世代のためにできることを考えて欲しいと思います。

【⑦支倉台地区】

●生活環境の整備、まちづくり

- ・川崎町は森や自然が豊かだから、山を切りくずしたりするのはやめた方がいいと思う。
- ・支倉台の近くになんでもいいから便利なものを建ててほしい。
- ・若者があまり魅力を感じない町並み、観光資源の少なさが過疎化を助長していると思う。もう少しキレイな町があれば人口の流出をくい止め、更に若者の移住等を実現できると思う。
- ・買い物をするのに不便のため、仙台まで外出しており、町内ではコンビニ以外利用していない。
- ・もっと“面白い”街になるとよいのでは…。「車で通過するだけ」よりも遊歩道やサイクリング道など整備して、赤石から町中心部まで来れるようにするとか…。
- ・生活しやすく自然を生かして活性化の良い町作りにしてほしいです。
- ・無料の動物園をつくってほしいです。
- ・川崎町に引っ越した頃は学校ができると言われたがその後中止、交通の便も悪く(バスの本数は減り、運賃も高い)近くで買い物する所もなく、車がないと生活できない。身体が自由がきかなくなると将来が不安です。仙台に近いのに何もできない。せめてショッピングモールとはいわないが、商業施設が欲しいです。

●少子高齢化・人口減少に対応したまちづくり

- ・これからは少子高齢化が進むので、50代以上の夫婦の移住を促してみたら良いのではないかとその際、町民バス以外に、大きめの車での移動(8人乗りあわせ)を可能にして、好きな時にかけられるようにすればよいと思う(1回につき無料～100円位で)福祉の充実!! また、スーパーや教育施設が少ないので、増やしてほしいと思う。
- ・人口減少が進んでいますが、町内は若者が少なく老人が多くいる町だと思います。子どもは成長して成人になると仕事を求めて、他町(市)へ出てしまいます。成人しても町内で仕事ができるように望みます。また、結婚や子育てがしやすい町にしてほしい。結婚していない30～40代も多く、出産したくても年齢的にできなく子どもの減少につながり、町が活性化できない。交通の便が悪い。そのため町外で出て行くと思います。
- ・20～40代を中心とした町づくり。町議は60～70代が多すぎ、若者の意見を無視し、何事にも反対する態度に憤りを感じる。これでは、町の発展すら足元からさらわれる。少子化と騒がれる中、町外へと出る人も多くなる。町長の右腕となるのは、これからの20～40代の若者。20～40代の人たちと一緒に考え創意工夫して、活気ある町づくりを目指して欲しい。勿論、50代もバックアップします。

●医療・福祉・子育て支援環境の整備

- ・病院はもっとあってもよい。
- ・他の市町村から転入してきた人、子どもが対象年齢ならばオムツの支援金を受け入れられるようにしてほしいです。公園に健康維持のための器具を入れてほしいです。

●交通環境の整備

- 町内のバスをもっと増やした方がいい。本数が少なすぎて不便。
- 公共交通機関が発達してないため、川崎町に住みながら町外で働くことが難しいので交通の整備をした方が良くと思う。
- 交通の便をもっと充実させてほしい。バスや道路の整備。通学するのにとても不便。
- バスも料金が高いので利用していない。電車が通っていれば良い。子どもを預ける環境として就学前は2園しかないので選べない。以前のように複数あった方が良く。
- 国道286号線のバイパス化を実施してほしい。(仙台―川崎間) 冬場、事故等に通行止めになり不便です。迂回路も秋保、村田と山道で不便であり、ずっと住むには不安がある。
- 電車を開通してほしいとまでは言いませんが、一日のバスの本数が少なすぎます。出掛けたい家に戻りたいと思っても、一日3本のバスは無理があります。せめて一時間一本をお願いしたいです。
- 交通の事です、母がバス時間があまりなく困っていました。父も仙台へ飲み会の事には泊らないと帰れないとの事、地下鉄があればせめて帰る時間のバスがあれば良いと思います。土、日も町民バス時間も足りないと思います。今後、車の運転が出来ない人が多くなり困ると思います。
- 286号線の整備を早く行ってほしい。
- 交通の便。道路は冬うごかなくなりやすいし、バスは圧倒的に少なすぎる。(仙台⇄川崎間)
- 川崎町は交通事情が悪いと思うので、宮城交通の本数を増やして欲しい、秋保川崎西部ライナーが支倉台の前を通るようにして欲しい。
- 286号の整備。
- 交通に便をもっと良くしてほしい。

●教育環境の整備

- 子どもたちは町の財産です。未来ある子どもたちのため、子どもたちの夢を現実になるよう、町一体で子どもたちをいろんな面でバックアップする。(インターハイ出場へ、町の子どもは出場時応援(町の代表)しに行く他。)

●産業振興

- 観光客それも複数回訪れてもらうためには、満足度を上げる必要があると思います。その一つに見た目も大事ではないでしょうか。川崎町で残念なのは、潰れた店舗や廃屋が目立ちます。これでは観光に来ての良い景色として思い出には残りません。まずは、こざっぱりとそして統一感のある町並みが必要と考えます。遠刈田や岩出山町とか良い例と思います。
- 川崎町のブランド商品、物産等を作る！
- 仙台市内から移住してきましたが、自然環境が何よりの差で売りたいと思います。湖畔公園のようなものは他にあまりないのか、遠くの知人も良く利用しているようです。でも、今1つ何か魅力になるような特色があれば他との差別化にもなると思います。
- せっかく湖畔公園があるのでもっとよい店を出してほしい。町にお金が入るから。みちのく駅などあってもよいと思う。

●就労環境の整備、企業誘致

- ・川崎町は自然が豊かで良い人たちがたくさんおりますが、地元で仕事を希望して就職してみても社内の人間関係は最悪のものでした。生まれてから川崎町を離れたことがない方々の結束は固く、他地域から来た人を受け入れる感覚がないのではないかと感じました。是非にも新しい企業を受け入れて職業の枠を広げて頂きたいと思います。働く場があれば人口も増加できると思いますし、これほどに土地も広い町内ですから土地活用を拡大して頂きたいと思います。
- ・労働条件が悪い企業がとても多く感じる。親族企業が多いせいか従業員への待遇が非常に悪い。
- ・企業誘致し、周りの市町村と差別化しなければ、若者は出ていくと思う。川崎町は何もない。
- ・企業誘致は当然ですが、町に住んでもらう工夫をしてほしい。こんなにも、素晴らしい自然のある町なのだから…。
- ・働く場を多くしてほしい。
- ・企業誘致を進めて行ってほしい。ブランド力のある企業等が増えてくれば、若者の雇用も増えてくると思う。生活しやすさはあると感じる為仕事があれば、町内で働きたいと考えている方は多いのでは？子ども達も少なくなっている中で上記を進めていくことで川崎への転入しやすいPRも進めてほしい。

●地域間交流、観光PR、情報発信

- ・イベントを行い、町の活性化を計る。(野外コンサート・プロ野球・サッカー・バスケット)
- ・仙台市の高校生が田舎に行ってみたいと言う人が多いので、ツアーなどを企画すると良いと思う。
- ・仙台市などの隣接している市町村に川崎町でしか出来ない体験や川崎町にしかない施設(湖畔公園)に来てもらうことで、川崎町に興味を持たせればと思います。
- ・ネットを使用した、川崎町のPRを多くした方が良いと思う。更新されている回数が少ないので、定期的な更新によって情報をより多く知ることができたほうが良いかと思った。例えば、HP、Twitter等。
- ・支倉常長の認知度が低いので、もっとアピールをすると良いと思う。

●行政全般について

- ・町を良くするための考えを、町民が遠慮なく役場の人たちに伝えられる手段があるといいと思います。
- ・町長さんや議員さん、町でなにかやるにしても、失敗したら自分の財産投げ売ってでもやるような気持ちで町づくりに取り組んでほしい。私たち個人はなにか失敗したら財産を失い丸裸になってしまいます。その違いがわかりますか？魅力のあるまちづくりがんばってください。
- ・これ以上人口が減少しないように取り組んでほしいです。
- ・市町村民税が高いと感じます。健康福祉に手厚い町だなあと思うのですが、歯科検診等をはじめ種々の検診(無料)が受診意志有無にかかわらず家族全員分送付されて来ます。税金の無駄使いと思う一例です。

- 川崎町に来て驚いた事は、水道料金が安いということです。釜房ダムと水源を持っているのになぜ？という感じです。また、使った分をそのまま下水料金に反映させるという考え方もしっくりいきません。
- 健全な財政は誇れることができ、将来の安心につながります。不用な箱物、利用頻度が低い土建工事を控えることを行ってほしいと思います。町政、町職員について、一度町外に出て戻った者から見て以前より明らかに良くなっています。(政策、態度、言葉づかい、ネットサービス)ぜひ更に向上していった欲しいと思います。

●その他（地区不明）

- 未来に可能性のあるまちづくりに期待しています。
- バスの本数増やして下さい。通学の時に、とても不便です。1 時間に 1 本はほしいです。とくに、朝と夕方、部活動をしている学生には必要です。お願いします。
- 川崎町の緑豊かな自然をいかした町のキャンプ場やイベントの実施などを行ってみてはどうでしょうか？買い物出来るお店(フレスコキクチやイトーチェーンなど)が、もっとあると町で買い物する人が増えるのではないのでしょうか？高齢化も進む中、高齢者の方も住みやすい町独自のサービスを考えていくなどの対策も必要と考えます。子育て世代の人の交流の場も有ると、町で子どもを持つ人が増えていくのではないのでしょうか？

Ⅲ. 資料（調査票）

あなたご自身についてうかがいます。

①性別（1つに○）

1. 男性

2. 女性

②年齢（1つに○）

1. 19歳以下

2. 20～29歳

3. 30～39歳

4. 40～49歳

5. 50～59歳

③職業（1つに○）

1. 会社員・公務員など

2. 自営業

3. パート・アルバイト

4. 専業主婦（夫）

5. 学生

6. 無職

7. その他（ ）

④お住まいの地区（1つに○）

1. 裏丁上

2. 裏丁下

3. 本荒町

4. 中新町

5. 前川東部

6. 前川西部

7. 青根

8. 立野

9. 野上

10. 古関

11. 笹谷

12. 小野

13. 川内一

14. 川内北川

15. 川内二

16. 川内三

17. 本砂金

18. 小沢

19. 支倉上

20. 支倉下

21. 碁石

22. 支倉台

川崎町についてうかがいます。

問1 あなたの川崎町での居住状況は以下のどれですか。（1つに○）

1. 生まれてから、ずっと川崎町に住んでいる

2. 川崎町出身であるが、いったん町外に転出し現在は川崎町に住んでいる

3. 川崎町以外の出身で、現在は川崎町に住んでいる

【問1で「2. 川崎町出身であるが、いったん町外に転出し現在は川崎町に住んでいる」、
「3. 川崎町以外の出身で、現在は川崎町に住んでいる」を選択した方にうかがいます。】

問1-1 川崎町に転入してきた理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 進学・転勤・就業のため

2. 結婚のため

3. 妊娠・出産のため

4. 子どもの学校のため

5. 親の介護のため

6. 町のサービスに魅力があるため

7. 生活環境がよい

8. ふるさとだから

9. 移住

10. その他（ ）

問2 川崎町は住みやすいですか。（1つに○）

1. 住みやすい

2. どちらかといえば住みやすい

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば住みにくい

5. 住みにくい

問3 あなたは、川崎町に暮らし続けたいですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. これからも川崎町に住み続けたい | 2. 町外に引っ越す予定がある |
| 3. 引っ越す予定はないが、将来引っ越したい | 4. わからない |

【問3で「2. 町外に引っ越す予定がある」、「3. 引っ越す予定はないが、将来引っ越したい」を選択した方にうかがいます。】

問3-1 引っ越す理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 生活をするのに不便(買物・交通等)だから | 2. 子どもの保育・教育環境が良くないから |
| 3. まちに活気がないから | 4. 働く場所がないから |
| 5. 仕事の関係から | 6. 住宅取得が困難だから |
| 7. 結婚するから | 8. 一度は他のまちで暮したいから |
| 9. 専門学校、大学がないから | 10. その他 () |

問4 川崎町の魅力はどういった点ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 公園や自然環境 | 2. 道路・交通機関 |
| 3. 職場が近い、仕事が多い | 4. 防犯・防災体制 |
| 5. 教育・保育のサービス | 6. 医療・福祉のサービス |
| 7. 近所のつきあい、地域活動の活発さ | 8. まちのにぎわい |
| 9. 上記以外の理由 () | 10. わからない・特になし |

問5 あなたにとって住みよさとは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 自然環境に恵まれている | 2. 働く場所がある |
| 3. 居住環境がよい | 4. 住宅事情がよい |
| 5. 交通事情がよい | 6. 娯楽や文化施設に恵まれている |
| 7. 医療・福祉施設が整っている | 8. 子どもの教育がしやすい |
| 9. 買物の便利が良い | 10. 物価が安い |
| 11. 静かな生活ができる | 12. 人情が豊かである |
| 13. 様々な新しい情報が得やすい | 14. 豊富な農産物や食の安全安心 |
| 15. その他 () | |

人口減少社会におけるまちづくりについてうかがいます。

問6 国立社会保障・人口問題研究所が、今後多くの自治体で人口が減少していくという推計を公表していますが、あなたは人口減少についてどのようにお考えですか。(1つに○)

問7 人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、次のうちからあなたが影響が大きいと考えること及び不安に感じることは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

問8 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、今後取組むべきことについて、最も重視すべ

1. 国や地方の負担減になり、税金等増加が低くなる努力すべき
 2. 年金減額望む社会保険料や医療費増額を維持する負担増に係る個人の負担増
 3. 地域減税は負担増の不足や地域活力減低下防止をかけるべき
 4. 過疎地の維持を必要とする地の荒廃
 5. 労働地人口の減少などによる地域産業の衰退)
-
6. 地域の伝統や文化の喪失
 7. スポーツ・文化・娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少
 8. それほど影響はない
 9. その他 ()

きことは何だと思いますか。(1つに○)

1. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組み
2. 移住の促進や定住・Uターンなど社会減を減少させる取組み
3. 子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組み
4. 農山町の魅力作りや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組み
5. 観光資源や森林資源といった地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創出する取組み
6. その他 ()

問9 今後、具体的に川崎町はさらにどのような分野に力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 企業誘致等による雇用の創出・安定 | 2. 観光振興による交流人口の拡大 |
| 3. 農林業の振興 | 4. 工業の振興 |
| 5. 商業の振興 | 6. 起業支援（創業支援） |
| 7. 子育て支援の充実 | 8. 医療・福祉体制の充実 |
| 9. 教育環境の充実 | 10. 住宅整備（公共住宅・宅地開発・空き家対策） |
| 11. 健康・体力づくり（長寿社会対応） | 12. 女性や若者施策の展開 |
| 13. 結婚支援の充実 | 14. 豊富な農産物や食の安全安心 |
| 15. 地域で活躍できる人材の育成 | 16. その他 () |

結婚についてうかがいます。

問 10 あなたは、現在、結婚していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 独身（未婚） | 2. 独身（婚姻歴あり） | 3. 既婚（事実婚を含む） |
|-----------|--------------|---------------|

【問 10 で「1. 独身（未婚）」、「2. 独身（婚姻歴あり）」を選択した方にうかがいます。】

問 10-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がいない | 2. 家族を養うほどの収入がない |
| 3. 精神的に自由でいられる | 4. 経済的に自由がきく |
| 5. 異性とうまく付き合えない | 6. 仕事（学業）に打ち込みたい |
| 7. 結婚資金が足りない | 8. まだ若すぎる |
| 9. 出会う機会、きっかけがない | 10. 結婚に意味を見い出せない |
| 11. 理由は特にない | 12. 上記以外の理由 |

問 10-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 結婚したい・する考えがある | 2. 結婚したくない・する考えはない |
| 3. わからない | |

【問 10-2 で「1. 結婚したい・する考えがある」を選択した方にうかがいます。】

問 10-3 結婚後も川崎町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

問 11 町が重点的に取り組むべき結婚支援策は何だと思いませんか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 安定した雇用の支援 | 2. 若い夫婦への住まいの支援 |
| 3. 結婚祝い金などの経済的支援 | 4. 婚活イベントなどによる出会いの場の提 |
| 5. 結婚相談窓口（仲立ち） | 6. 若い世代への結婚に関する講習会 |
| 7. 結婚を推奨するようなPR | 8. 行政がやる必要はない |
| 9. その他（ | ） |

出産・育児についてうかがいます。

問 12 あなたには、現在、お子さんが何人いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 子どもはいない |

問 13 将来的に何人のお子さんを持つご予定ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|----------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 子どもを持つ予定はない |

問 14 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|----------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 子どもを持つ予定はない |

問 15 理想的な子どもの数を実現するために、障害となること（なりそうなこと）は何ですか。
（あてはまるもの **3つまで**に○）

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる
2. 家が狭い
3. 自分の仕事に差し支える
4. 子育てを手助けしてくれる人がいない
5. 子どもを預ける施設が整っていない
6. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足
7. 年齢的な問題
8. 育児・出産の心理的・肉体的な負担
9. ほしいけれど、できない
10. 配偶者の家業・育児への協力が見込めない
11. その他（ ）
12. 障害は特にない

問 16 今後、出産・育児に関するサービスとして、川崎町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充
2. 子どもを預かるサービスの時間の延長
3. 子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上
4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実
5. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付
6. 子育てに係る母子の保健・医療体制の充実
7. 子育てに関する様々な講座・イベント・講演会の実施
8. その他（ ）
9. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない

働くことについてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。（1つに○）

1. 働いていない 2. 町内 3. 町外

【問 17 で「1. 働いていない」を選択した方にうかがいます。】

問 17-1 働いていない理由は何ですか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. 働きたくない 2. 仕事を探しているが見つからない
3. 病気療養中 4. 親や子の介護または子育て中
5. その他（ ）

【問 17 で「2. 町内」、「3. 町外」を選択した方にうかがいます。】

問 17-2 現在の仕事に満足していますか。(1つに○)

1. 十分満足している 2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない 4. 非常に不満である

問 17-3 現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか。(あてはまるもの **3つまで**に
○)

1. 給与	2. 休みの日数（有休の取得など）
3. 労働時間	4. 通勤時間
5. 職場の人間関係	6. 仕事の内容・やりがい
7. 福利・厚生	8. 介護・育休制度の有無
9. 法令順守（パワハラ・セクハラなど）	10. 上記以外（ ）

【問 17 で「3. 町外」を選択した方にうかがいます。】

問 17-4 どこで働いていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 仙台市	
2. その他 宮城県内（	市・町・村）
3. その他 宮城県外（	都・道・府・県 区・市・町・村）

問 17-5 町外で働いている理由は何ですか。(あてはまるもの 3 つまでに○)

1. 町内に働きたい業種の職場がないから	2. 町内地元企業の規模が小さいから
3. 町内地元企業の技術レベルが低いから	4. 給与水準が低そうだから
5. 地元の人間関係がいやだから	6. 家庭の都合（親族の都合で転居できない）
7. 希望する職場が通勤可能だから	8. 会社の都合（転属など）
9. 上記以外の理由（	）

問 18 あなたは今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はありますか。(あてはまるもの 1つ に○)

1. 就職・転職の希望はない 2. 町内で就職・転職したい 3. 町外で就職・転職したい

【問 18 で「2. 町内で就職・転職したい」「3. 町外で就職・転職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 18-1 次のうち、どの分野の仕事を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 農業・林業	2. 畜産業
3. 水産業	4. 製造業
5. 建設業	6. 運輸・情報通信
7. 商業関連業	8. サービス業
9. 金融・保険業	10. 学術研究・専門技術
11. 医療・福祉	12. 公務員等
13. 特にこだわらない	14. その他（ ）

問 19 地域経済の活性化を行う際に、どのような取組みに力を入れるべきと考えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
2. 生産性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興
3. 6次産業化(※)・ブランド化などによる農林水産業の振興
4. 女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進
5. 自然など本町の素材を生かした観光産業の振興
6. 学校・企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成
7. 産業振興につながる道路等の整備及びインターネット環境等の社会基盤の整備
8. その他 ()

※ 6次産業・・・農林水産業(第1次産業)、食品加工(第2次産業)、流通販売・情報サービス(第3次産業)を一体化した新たな食農ビジネスの取組み。

問 20～21 については、学生の方がご回答ください。
学生以外の方は、8ページの問 22 へお進みください。

問 20 あなたは、現在、どこに通学していますか(学校の種類は問わない)。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 町内 | 2. 仙台市 |
| 3. その他 宮城県内 () | 市・町・村) |
| 4. その他 宮城県外 () | 都・道・府・県 区・市・町・村) |

問 21 あなたは、今後進学や就職するときに、川崎町に残りますか、それとも川崎町を出ていきますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 町内に住みながら進学・就職したい | 2. 町を出て進学・就職したい |
| 3. わからない | |

【問 21 で「1. 町内に住みながら進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 21-1 あなたが(将来的に)町内に住みながら進学・就職したい理由は何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 通学・通勤が可能な学校・職場があるから | 2. 家業を継ぐため |
| 3. 家庭の事情のため | 4. 家族や友人と離れたくないから |
| 5. 自然環境が豊かで暮らしやすいまちだから | 6. 都会の生活に魅力を感じないから |
| 7. 特に理由はない | |

【問 21 で「2. 町を出て進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 21-2 あなたは(将来的に)どこへ出る予定(出たい)ですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 仙台市 | |
| 2. その他 宮城県内 () | 市・町・村) |
| 3. その他 宮城県外 () | 都・道・府・県 区・市・町・村) |

問 21-3 あなたが（将来的に）川崎町を出る（出たい）理由は何ですか。

（あてはまるもの 3つまでに○）

1. 川崎町にいては、就職の受け入れ口がすくないから
2. 家族や故郷のしがらみやわずらわしさから離れたいから
3. 都会での生活にあこがれるから
4. 川崎町にいては、将来の結婚が難しくなると思うから
5. 自立したいから
6. 特に理由はない

問 21-4 あなたは（将来的に）川崎町を出て進学・就職後、川崎町に戻って暮らしたいと思
いますか。（あてはまるもの 1つに○）

1. 卒業後、直ぐに戻る（戻りたい）
2. 川崎町以外で数年間働き、働く場があれば直ぐに戻る（戻りたい）
3. 一旦は川崎町以外で働き、一定の時期（例えば定年）がきたら戻る（戻りたい）
4. 戻りたいが、働く場が限られるので戻らない（戻らない予定）
5. 戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない（戻らない予定）
6. 戻る気はまったくない
7. わからない

すべての方がご回答ください。

問 22 その他、川崎町のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせくだ
さい。（ご自由に記入してください）

川崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略
川崎町地方創生に関するアンケート調査集計報告書

平成 27 年 11 月

編集：川崎町地域振興課
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁 175-1
TEL (0244) 84-2111 FAX (0224) 84-6789
